

2024年 第59号
 とことん面倒見のよい学校
 中央カレッジグループ

学園新聞

中央情報経理専門学校
 群馬法科ビジネス専門学校
 中央医療歯科専門学校太田校
 専門学校 中央農業大学校
 専門学校 中央情報大学校
 高崎ビューティモード専門学校
 中央動物看護専門学校
 中央医療歯科専門学校高崎校
 中央スポーツ医療専門学校
 中央高等専修学校前橋校
 CRI 中央外語学院
 資格の学校 TAC群馬校

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>
 〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124

将来見据え新たな取り組み

CBTテストセンター開設 PCでの各種検定試験に対応

専門学校9校を運営する中央カレッジグループでは、新たなビジネス分野の取り組みとしてPCで各種検定試験が受験できるCBTテストセンター（新前橋テストセンター）を群馬法科ビジネス専門学校内に開設しました。



開設された「中央カレッジグループ新前橋テストセンター」の内部

CBTは、Computer Based Testing（コンピュータ・ベースド・テストイング）の略で、コンピュータを利用した試験方式。英検や漢検などの検定団体のほか、大学の語学入試、一部上場企業の採用試験や社内評価試験でも導入が進んでおり、次世代型試験モデルとして注目されています。

の利便を図っています。

3月中旬の本格オープン前から、受験申し込みや問い合わせも相次ぎ、人気となっています。

問い合わせは、前橋市古市町1-48-1、群馬法科ビジネス専門学校内「中央カレッジグループ新前橋テストセンター」（☎027-256-7700、担当：奥土居・秋山）まで。



GCCの町田社長（前列左から3人目）を囲んで記念撮影する中央情報大学の学生と教職員

(株)GCCと情報技術で教育連携 DTC活用しシステム開発

専門学校の中央情報大学校（中島慎太郎理事長・学校長）は1月16日、自治体向けに情報技術を提供する株式会社ジーシーシー（GCC・前橋市、町田敦代表取締役社長）と、ICT分野における職業教育に関する教育連携を結びました。この連携では、授業を休まずインターンシップを経験できる同校の「デュアルテクニカルセンター（DTC）」を活用、ジーシーシーのシステム開発に携わりながら、学生の実践力を高めます。

同センターは校舎に隣接した建物にあり、学生は授業の空き時間や放課後にインターンシップに取り組んでいます。今回の連携では、主に4年制の高度ICTデザイン学科の高度開発・プログラム専攻の学生が、ジーシーシーのシステムを導入する利用者からの問い合わせを集約して回答を提供する「問

い合わせ管理ツール」の開発に携わります。

インターンは有償で、社員と連携しながら柔軟な発想で取り組みます。また、認定基準を満たした学生には、DTCから認定証が発行されます。

締結式に臨んだ町田社長から学生たちに「若い皆さんの力を貸していただき、どんどん質問してほしい」とエールを送っていただきました。中島理事長は「学生が責任をもって仕事に携わり、達成感や成功事例をつくることのできる環境を提供いただけた。学校一丸となって成果を積み上げたい」と、教育連携に期待を込めて語りました。

同校のDTCを活用した連携は、システム開発会社の日本ルクソールシステム（東京都）に続き2社目。同校は、今後もさまざまな企業と連携し、学生の経験の場を増やしていきます。

9校、712人が巣立ち



高崎地区3校合同卒業式



前橋地区5校合同卒業式

中央カレッジグループ9専門学校の卒業式が3月中旬までに県内3地区会場で行われ、合わせて712人が新たな世界へ巣立っていきました。

3月7日に群馬音楽センターで行われたのが高崎地区3校（中央情報大学校、高崎ビューティモード、中央医療歯科高崎校）の合同卒業式。対象者は3校で439人でした。式典では、各学校長から卒業証書、高度専門士や専門士の称号が代表学生に授与され、多くの来賓を代表し、群馬県高崎安中振興局の坂田達也局長と高崎商工会議所の串田紀幸会頭からお祝いと激励の言葉が送られました。



専門士の称号が授与され、太田新田歯科医師会や県歯科衛生士会などから来賓が出席、門出を祝いました。

翌15日には、前橋地区5専門学校（中央情報経理、群馬法科ビジネス、中央農業大学校、中央動物看護、中央スポーツ医療）の合同卒業式がベイシア文化ホール（群馬県民会館）で行われ、5校合わせて253人が卒業しました。

式典では各学校長から代表学生に卒業証書・専門士称号が手渡され、学園を代表し中島慎太郎理事長が、学習の成果と自信を胸に社会での活躍を期待する式辞を述べました。

多くの来賓を代表し、前橋商工会議所の曾我孝之名誉会頭が卒業生の前途を祝しました。

同14日には、中央医療歯科専門学校（太田校）の卒業式が同市内の結婚式場で行われ、20人が3年間の学習の成果と楽しい思い出を胸に卒業しました。

式典では、学校長から卒業証書と

全動専の全国選抜トリマー選手権

岡田さん 準V ミドルクラスに挑戦

一般社団法人全国動物専門学校協会（中島利郎会長）が主催する第18回全国選抜トリマー選手権大会が2月18日に京都で行われ、中央動物看護専門学校の動物美容学科1年生、岡田彩さん（大間々高校出身）が見事、ミドルクラスで準優勝しました。

この大会には青森から沖縄までの専門学校16校から選抜された46人が参



全国選抜トリマー選手権のミドルクラスで準優勝した岡田さん

加。ハイクラス、ミドルクラス、サロンクラス、アレンジカットクラスで、120分の競技制限時間を使って日ごろ学んだ技術を競いました。

（関連記事14p）

学校法人 有坂中央学園

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

資格や検定試験合格など中央情報経理専門学校の学習成果が着々と実っています。2月28日に開催された本校の所属する中央カレッジグループ教育成果発表会でも、多くの学生の活躍が紹介されました。

学習の成果着々と

高資格取得や検定合格相次ぐ

本校から成果発表会で紹介されたのは、税理士科目や日商簿記検定1級及び全経簿記検定上級に合格したIT会計ビジネス学科の8人、診療情報管理士認定試験や診療報酬事務能力認定試験に合格した医療福祉秘書学科の29人、登録販売者試験を合格した医薬販

売学科の4人、幼稚園教諭二種免許や保育士資格を取得した保育福祉学科の15人ら既卒を含む合計61人が対象となり、31人の学生が参加しました。日商簿記検定1級に合格した米山晴登さんが、前橋商工会議所の金子昌彦会頭から賞状を授与されました。

SDGs活動報告では、「ジェンダー平等とは」のテーマで保育福祉学科の活動を紹介します。

医療福祉秘書学科からは、志摩市民病院での医療体験が報告されました。



高資格取得などの成果が紹介された本校学生と教職員

積み重ねの学習が実る

新井 悠叶さん
(IT会計ビジネス学科IT会計スペシャリスト専攻、高崎商業高校出身)



今回、税理士試験の簿記論と財務諸表論に合格することができて本当にうれしいです。簿記論は今までの積み重ねのおかげで、最初からある程度点数は取れていましたが、財務諸表論は今まで学習してきたものと違い、学問的な側面が強く、理論暗記が本当に大変でした。それでも、毎日時間を見つけて理論暗記に取り組むことで合格することができました。今回合格できたのは家族や先生方のサポートのおかげでもあり、本当に感謝しています。

税理士科目試験に合格

本校のIT会計ビジネス学科の学生3人が税理士科目試験の簿記論と財務諸表論に合格しました。学習法などを聞きました。

何度も難問にチャレンジ

栗原 琉日さん
(IT会計ビジネス学科IT会計スペシャリスト専攻、桐生商業高校出身)



初めての国家資格への挑戦は不安と緊張でいっぱいでしたが、無事に合格することができずごくうれしかったです。最初は日商簿記と違う問題形式や理論の暗記に苦戦してあまり良い点数が取れなくて悩んだりもしましたが、何回も問題を解いていくこと

で少しずつ慣れていき点数が取れるようになったときは、自分の成長を感じられ、努力してきた良かったと思いました。

今回の経験を糧(かて)に、これからも目標に向け努力していきたいと思っています。

先生のアドバイスがカギ

畠村 楓さん
(IT会計ビジネス学科IT会計スペシャリスト専攻、伊勢崎商業高校出身)



私は、税理士試験のテストで点数を安定してとることができませんでした。しかし、先生から「難しい問題は、多くの受験生は解けないから、簡単な問題を絶対に間違えないこと」と教えてもらい、そのことを心掛けて問題を解いてきました。

当日は、先生の言葉を思い出して試験に挑みました。実際に、今まで解いたことがない問題が出題されましたが、慌てずに解くことができました。

その結果、簿記論と財務諸表論に合格することができました。先生方には、感謝しています。

第165回日本商工会議所簿記検定

入学から7カ月半、1級合格

次は税理士試験目指す

米山 晴登さん
(IT会計ビジネス学科IT会計スペシャリスト専攻1年、前橋南高校出身)



日商簿記検定1級に合格でき、安心したという気持ちとうれしい気持ちを感じています。

初めて簿記に触れたのは、中央情報経理専門学校に入学してからでした。当初は少し不安もありましたが、授業がしっかりと理解でき、テストでは良い点数が取れたことで自信がつき、6月の2級、11月の1級と順調に合格することができました。日々の授業時間が長いこと、1級では約2カ月間の答練期間があり、決して簡単ではありませんでしたが、担任の先生のサポートやクラスメートと切磋琢磨(せっさたくま)しながら乗り切り、結果を残すことができました。先生をはじめ、支えてくださった方々に感謝しています。

現在は、税理士試験科目(簿記論・財務諸表論)の学習を進めています。目標は、その2科目に合格することです。

診療情報管理士認定試験

14人が合格、合格率93.3%

第17回診療情報管理士認定試験(一般社団法人日本病院会主催)で、本校の診療情報管理士専攻学生14人が合格しました。本校合格率は93.3%、全国平均は72.8%でした。

▽診療情報管理士合格者

(敬称略・高校名は出身校)

- 鬼久保寛奈子(高崎商業高校)
- 恩田 緋彩(高崎北高校)
- 菊池 智貴(桐生高校)
- 久保 瑠南(前橋清陵高校)
- 熊田 遥(高崎商業高校)
- 小竹 姫杏(共愛学園高校)
- 津久井水晶(共愛学園高校)
- 戸塚 千賀(高崎商業高校)
- 中田 萌(自由の森学園高校)
- 新平 楓(前橋商業高校)
- 松本 采奈(伊勢崎高校)
- 松本 怜奈(伊勢崎商業高校)
- 山本 愛結(高崎経済大学附属高校)
- 横沢 実樹(高崎商科大学附属高校)

【合格者コメント】

目標立てて学習できた

小竹姫杏さん(共愛学園高校出身) 本校に入学し、自分の性格が変わりました。高校の時は目標を決めて勉強したり、学校行事にも力を入れるのではなく、すぐあきらめていました。本校で多くのことを学んだ今、振り返ると友達より良い点数を出すために頑張る負けず嫌いな所や、目標を立て努力をし、自分の思いを周囲に伝えたり、今まで無かった自分が出てきたと感じています。

資格試験もただ合格するだけではなく、どうせ受けるのならもっと上を目指したいと高い目標を立てて取り組み、その結果合格できた時の達成感がたまたまなく、自分の勉強スタイルに気づくことができました。

日々の授業で行われる小テストの問題が試験につながり、授業を真剣に取り組むことが大切です。友達と相談しながら勉強したことも効果的でした。しかし医学知識が問われる基礎分野は少しでも多く知識を身に付けるために試験直前まで何度も学習を続けました。

診療情報管理学会学術大会 4人が学生セッションで発表

第49回日本診療情報管理学会学術大会(青森市・令和5年9月14日)に、診療情報管理士専攻コースの学生4人が「学生セッション部門」の口頭発表で参加しました。

発表はテーマ別に分類され、施設内の3つの会場での同時発表形式でした。全国から参加した診療情報管理士や学生などの前で発表するのは今回が初めてでしたが、取り組んだ研究を堂々と発表、その後の質問に対してもしっかりと応えていました。

学生セッション部門以外でも、医療現場で活躍する診療情報管理士の方々の研究発表を直接聴く貴重な機会となりました。

発表学生とテーマは次の通り。

鬼久保寛奈子(統合型医療情報システムについて)、中田萌(若年患者の緩和ケア)、松本怜奈(災害医療と災害派遣医療チームのストレス関係)、山本愛結(高齢者におけるリハビリテーションについて)

医薬販売学科 1 期生が全員合格

令和5年度の登録販売者試験

令和5年度の群馬県登録販売者試験（8月29日実施）の結果が、10月6日に発表され、医薬販売学科の1期生が全員合格しました。

1期生は、入学から1年半、薬の種類、副作用、法律、歴史、人体の構造を学び、1年に一度の試験に向けて知識を積んできました。その努力の結果、見事に全員合格しました。なお、群馬県全体の合格率は55.2%でした。

1期生の頑張りが生んだ全員合格の

結果の背景には、協力いただいた保護者、現場で指導して下さった教育連携先の(株)クスリのマルエの皆さん、応援して下さった教職員のおかげです。

医薬品登録販売者は、地域のセルフメディケーションを推進し健康をサポートしていく重要な仕事です。合格した1期生の活躍を応援していきたいと思えます。

Wellness Tokyo 2023

健康テーマの展示会見学

医薬販売学科では、11月30日に東京ビッグサイトで開かれたWellness Tokyo 2023の見学に行ってきました＝写真。

同展は、健康増進・未病対策に関する食品・製品・サービスが集まる日本最大級の総合展であり、健康に関するあらゆる製品・サービスが一堂に集まります。専門家によるセミナーも同時開催され最新情報や製品を体験でき、セルフメディケーションと販売を学ぶ学生にとって、まさに見て、聞いて、触れて学ぶことができる環境でした。

学生は各ブースの商品に興味深く観



察し、企業の方のPRスキルに刺激を受け、商談を行う社会人の動きを見ってきました。

会場では代替肉として大豆たんぱくを使用した商品が多く並び、大豆で作ったごはんやプロテインを試食し、サンプルや資料をたくさん頂きました。実際のビジネスの場の見学は、授業と異なる刺激を得ることができ、学生たちにとって良い経験になりました。



交流授業に参加した日本人学生と留学生

留学生と日本人学生 正月遊びで交流授業

情報ビジネス学科1年生16人と、国際ビジネス学科・国際エンジニア学科の留学生13人の合計29人が、1月17日に交流授業を行いました。

これは留学生と日本人で文化交流を持つことを目的として企画された授業です。内容は日本の伝統的なお正月遊びであるコマ回しと福笑いを、留学生と日本人の混合チームに分かれて楽しみながらやってみようというものです。

以前から、日本人の学生と交流したいという留学生の声は出ていましたが、普段はなかなか触れ合う機会がないのが現状だったため、留学生はこの日を楽しみに待っていました。

交流授業当日、まずはチームメンバー同士で軽い自己紹介から始まり、続いて福笑いが始まりました。最初はルールをよく理解していない学生もいましたが、位置やパーツについて指示を出しながらゲームを進め、目隠しを外

し出来上がった顔を見てみんなで大笑いしている姿が印象的でした。

その後の、コマ回しでは、国籍関係なく上手な人に積極的に教わりに行き、初めて回せた学生からは喜びの声も上がっていました。

情報ビジネス学科の学生が留学生を気遣って声を掛けてくれる場面もあり、教室は終始明るく活発な雰囲気に包まれていました。

終了後のアンケートでも次は別の活動も一緒にしたいという声も上がり、留学生の満足度の高さがうかがえました。

3月4日に行われた卒業研究発表会で、保育福祉学科の学生たちは3年間の学習成果を交えながら劇「白雪姫」を上演しました＝写真。

ここに至るまでには試行錯誤の連続、ようやく練習では恥ずかしがらず、いつも通りの雰囲気で行うことができました。しかし、本番は他学科の学生がいたので緊張と照れが出てしまう場面も。それでも保育の

CSCP活動を多彩に

成果発表会を開催

本校1年生が令和5年5月から取り組んだSDGs活動の成果発表会が開催されました。学園挙げて取り組んでいるCSCP（中央SDGsチャレンジプロジェクト）の一環で、各学科が個性的なアプローチで課題に挑み、多岐にわたる成果を上げました。

IT会計ビジネス学科はSNS上のトラブルをコンサルティングでケアする活動に挑戦。情報ビジネス学科はSDGsの考えを広めるため、ポスターや動画を作成し母校で普及活動にチャレンジしました。

医療福祉秘書学科と医薬販売学科は不要な洋服やおもちゃを収集し、販売やフリーマーケットを行いました。この活動は地球環境保護への新たな一歩となるでしょう。



事例発表する学生たち

保育福祉学科はジェンダー平等を伝えるため、パネルシアターを作成し幼稚園で披露。国際ビジネス学科は、エコバックにデザインを施し、配布しました。

成果発表会は、学生たちが自らのアイデアを広く共有する場。今後もさまざまな学問領域での活発な交流が期待されます。

「SDGsを考えるきっかけを」 出身高校にアプローチも

情報ビジネス学科

1年生はCSCPの学習後、クラス単位で何ができるか模索。学生たちが高校生のころ、SDGsについて考える機会が少なかったということに気が付きました。その結果、後輩である現役高校生に対してSDGsの重要性を啓発することを決め、まずは身近な問題であるポイ捨てに関する動画やポスターを制作し、出身高校に掲示依頼を行いました。

この取り組みはさらに発展し、ごみ問題についての呼びかけにとどまら

ず、伊勢崎商業高校でSDGsに関する出前授業を行うことになりました。

そこで、「SDGsはなぜ取り組まなければならないのか」「私たちの取り組み」などを紹介し、高校生に「自分たちが今できること」を考えてもらいました。

出前授業を担当した学生たちはとても緊張していましたが、後輩たちの前で堂々と話し、「今後も人前で話す機会が増えると思うので、今回の経験を生かしていきたい」と話していました。

今回のCSCP活動は、学生たちが積極的に取り組むことで、SDGsの貢献だけでなく、彼ら自身の成長と学びにもつながったと実感することができました。

観光地・熱海で 実践的な研修

情報ビジネス学科2年生が、卒業研究のテーマに、日本有数の観光地である静岡県熱海市を選び、研修旅行などを通じて衰退から再生へと成し遂げた舞台裏を、マーケティングやデザインなどを題材に学びました。

データを駆使し現状を知り、課題を考え、仮説を立てました。そして検証を行うため、実際に熱海市へ赴き、グループごとにフィールドワークを実施しました。ひと昔前まで団体旅行客が多かった町に、今では若者世代が多く



熱海で研修した学生たち

溢れています。地元商店街、タクシー運転手、宿泊先の方などにインタビューを行い、メディアの力やSNSによる発信が大きく影響していたとわかりました。

この研修旅行を通して、教室内では得られない貴重な体験をするとともに、実際に見学することによって視野が広がったのではないかと思います。

学生らしく、楽しい雰囲気で行うことができました。

3年間の学習のまとめとして行っ

保育の卒業研究発表

「白雪姫」を上演

た卒業研究発表。舞台上立った学生たちにはいろいろな感慨があったのではと思います。



学生生活での学び・経験を忘れずに社会に出ても元気で頑張っていきたいと思います。活躍を期待しています。

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

令和5年度公務員試験

過去最高の215人合格

2023年度(令和5年度)の公務員採用試験のほとんどが終了、3月末の時点で本校から215人の過去最高の最終合格者を輩出することができました。この数字は昨年度の179人を大幅に超えた数字です。採用数を減らす自治体も数多いなかで、群馬県職警察事務では最終合格者に占める本校学生の割合が60%以上になったほか、群馬県外の県職や市町村、消防、警察で数多くの最終合格を勝ち取りました。特に、東京都職や東京特別区、警視庁、東京消防庁など東京都における公務員合格が目立ち、学生たちの地道な努力が厳しい採用状況に打ち勝つ結果となりました。

国家・地方ともに努力実る

合格先を見ると、国家公務員は国家一般職・税務職・技術職などで37人が最終合格(公安職を除く)。本年度の特徴として、東京労働局をはじめ、東京出入国在留管理局、関東公安調査局、東京国税局など、ここでも「東京志向」が目立ちました。また、独立行

政法人である国立大学法人や東京都立病院機構、水資源機構などで6人の学生たちが最終合格を勝ち取りました。

地方公務員では、群馬県、埼玉県、栃木県、東京都の都県職員に21人が最終合格しました(警視庁事務を含む)。また、各自治体を調べる中で、

群馬県内だけでなく県外に目を向けて自分に合った仕事先を見つけた学生たちも少なくありませんでした。県外の市区町村においても、本年度は11人の学生が東京都、埼玉県、茨城県の自治体で最終合格を勝ち取っています。一方、県内の市区町村では、17人の学生たちが最終合格を勝ち取っており、前橋市や高崎市、太田市、藤岡市、富岡市、みどり市で最終合格者を輩出。さらに、草津町や長野原町、大泉町や嬬恋村など県内全域にわたって合格しています。

消防士では、群馬県内に11ある消防本部のうち8本部に最終合格を果たしています。また、東京消防庁Ⅲ類をはじめ、さいたま市消防、横浜市消防、川崎市消防、厚木市消防、宇都宮市消

防、上尾市消防など県外消防に12人が最終合格を果たしました。

警察官では、群馬県警に16人が最終合格したほか、警視庁、埼玉県警、神奈川県警など関東各地の警察に11人が最終合格を果たしました。

本年度の公務員試験においてもコロナ前の試験方法に戻る傾向が見られました。対面での面接試験や集団討論などの採用方法を再び導入して、これまで通りの採用試験を行う自治体が増えてきました。公務員の採用試験は社会情勢によってその形式や重点項目が目まぐるしく変化していきます。その変化に適応し、常に社会に求められる人材を輩出することができるよう、学生を指導していきます。

採用試験に合格し、4月から公務員としてそれぞれの職場で働きはじめる卒業生4人に、合格に至るまでの思い出や今後の抱負を聞きました。

【採用先】太田市消防本部
関口 遼さん
(警察官・消防士1年制コース、伊勢崎工業高校出身)

市民に安心感与えたい

▽消防官という仕事の魅力について

高い知識と技術で真っ先に人命救助に向かう仕事は、事故災害の現場ではもちろん、日ごろから市民に安心感を与えられる魅力があると考えています。また、消防団をはじめ、市民の皆さまと一緒に地域防災意識を高める仕事にも魅力を感じています。

▽試験勉強で努力・工夫したことは

授業内容をメモしたものや放課後に自分が分かりやすいようにノートにまとめたこと。模試をコピーして繰り返し解き、解説ノートを作ることを継続して続けました。くじけそうなときは消防官になるんだと自らを奮い立たせて乗り越えました。

▽これから公務員を目指す人へのメッセージ

自分のなりたい像や姿をはっきりさ

【採用先】警視庁警察官
田子 天音さん
(警察官・消防士1年制コース、群馬工業高専出身)

外国人対応の仕事したい

▽最終合格を果たした公務員の中で、警視庁警察官を選んだ理由

警察官を目指すならば日本の要であ

夢と希望を胸に

卒業生インタビュー



新たな道へ決意を誓う卒業生
(左から岡島さん、浅見さん、田子さん、関口さん)

せて、覚悟を持って一定期間死に物狂いで頑張ってください。

【採用先】群馬県学校事務
浅見 彪央さん
(国家・地方公務員初級1年制コース、高崎商業高校出身)

地元の学生たち支援したい

▽群馬県学校事務職員の仕事の魅力は何ですか

高校時代に生徒会に所属していたときに、学校行事の運営に必要な備品などの準備をサポートしていただいたことに感謝し、自身も学校事務職員として地元の学生たちの役に立ちたいと思

る東京を守り、非常に専門性が高い警視庁警察官に憧れていたからです。

▽どんな仕事を目指したいですか

コロナ規制が緩和され、グローバル化が進む中で、来日する外国人が増えているので、外国人に関わる犯罪を取り締まるとともに困っている外国人を助ける仕事をしたいです。

▽本校で学んで良かった点は

うようになりました。

▽試験勉強で工夫したことや苦勞したことは

工夫したことは苦手科目に時間をかけすぎないようにしました。また、苦勞したことは試験中の時間配分が難しかったことです。試しに模試で解く順番をいろいろ変えて自分のベストのやり方を見つけることができました。

▽本校で学んで良かった点は

先生と学生の距離が近く、いろいろなことを気軽に質問できるところです。また、学生消防団をはじめ地域清掃などたくさんのボランティア活動に参加できることです。学校生活を通し

先生方の雰囲気が高く、分からないところがあれば根気よく優しく教えてくれます。また、夜遅くまで授業の補習や面接練習などの面倒を見てくれたところ。また、同じ公務員を目指す仲間と切磋琢磨(せっさたくま)でき、緊張感を持って勉強できる環境が整っていたことが特に印象に残っています。

てこれらのことを学ぶことができ、人間的に成長できたと感じています。

▽どのような学校事務職員を目指すのか教えてください

私自身、日商簿記検定試験2級を取得しているため、経理関係の業務に携わってみたいです。

【採用先】群馬労働局

岡島 さくらさん

(国家・地方公務員初級1年制コース、桐生工業高校出身)

仕事選択のアドバイスしたい

▽労働局という仕事の魅力について

人生において「仕事を選ぶ」という大きな選択の手助けができることです。なかでも、仕事の確保や職業能力の向上、労働条件の確保・向上、働き方改革など「働く」ことに関連するさまざまな行政分野を運営しながら、地域に密着した行政を担い、多くの人々の人生を支える仕事に魅力を感じました。

▽試験勉強で努力・工夫したことは

自分なりのまとめファイルを作りました。理系の中でも特に数学が苦手な暗記科目を中心に勉強しました。

▽本校で学んで良かった点は

多くのボランティア活動に参加することができ、さまざまな社会経験を通して社会貢献活動の重要性を学ぶことができました。面接試験においてもボランティア活動で学んだことを伝えることができたと思います。

▽どのような労働局員を目指したいですか

自分の長所である面倒見の良さを生かし、人々が安心して働けるように全力でサポートします。

地域に密着した消防団活動を支援し、防災力向上に功労があった事業所をたたえる令和5年度消防団等地域活動表彰において、学生消防団を組織する本校が消防庁長官から表彰されました。

本校では、八鍬政之先生の指導のもと、学内に自主的に学生消防団を組織し、消防団入団啓発の広報活動やイベントの後方支援、清掃活動、前橋市消防局の協力を得た救急救命法講座の受講などに取り組んでいます。

本年度は88人の学生消防団員が所属し、新前橋駅や前橋駅で定期的に広報チラシを配布して消防団啓発宣伝活動に努めました。また、大規模イベントの「ぐんまマラソン」では消防職員と連携し救護体制を整えることで、地域

防災力の向上に寄与しました。

これらの活動が認められ、地域活動表彰された全国19事業所の中で唯一の教育機関として受賞を果たしました。

都内で行われた受賞式には学生代表と学校長、担当指導する八鍬先生が出席、消防長官名の表彰状を授与されました。

本校では県内外の消防本部・消防局・消防署などへ多くの人材を輩出しており、今回の受賞は大きな励みになりました。

消防団等地域活動表彰を受賞

本校学生消防団の活動が評価



消防庁長官表彰を受けた本校。表彰式に臨んだ学生消防団の学生代表と指導の八鍬先生



駅前などで消防団啓発広報活動を行う学生消防団員



救急救命講習を受講する学生消防団員

国内研修旅行で公務員の仕事学ぶ

本校2年制1年の国内研修旅行が12月4、5日にかけて行われ、60人が参加しました。この研修は、普段の学校生活とは異なる環境の中で中央省庁や防災施設などを見学し、公務員という職についての知見を広めることを目的としています。国家・地方公務員初級コースと警察官・消防士コースで異なる見学先を選んで実施しました。

税関や都庁、農水省・参議院など

国家・地方公務員初級コース



事務系公務員を目指す学生たちの研修旅行

事務系公務員を志望する学生が多く集まる国家・地方公務員初級コースは、初日は、浅草や東京スカイツリーを巡りながら東京観光を満喫したあと、財務省管轄の横浜税関本関を見学しました。なかでも、薬物、銃器をはじめ、テロ関連物品、知的財産侵害物品などの密輸を取り締まるための説明に熱心に耳を傾けていました。また、知的財産物品における本物と偽物の品物の違いに見入っていました。

2日目は、東京都庁や農林水産省・参議院(国会議事堂)を見学。市役所とは違って普段なかなか目にする事のない組織なので、学生たちは興味深そうに話を聞いていました。

これを機に、国家公務員の道も選択の中に加えてほしいと思います。

税関や防災・救難基地、警視庁など

警察官・消防士コース



公安系学生の研修旅行

警察官・消防士コースの初日は、事務系と異なる時間で横浜税関からスタートしました。午後は、海上保安庁の横浜防災基地を見学しました。防災基地では実際に展示している飛行機やヘリコプターの操縦席に搭乗することができ、想像していた以上に密度の濃い時間を過ごすことができました。

2日目は海上保安庁の羽田特殊救難基地、東京臨海防災公園、警視庁の交通管制センターをそれぞれ訪問しました。公安職として日本の災害に立ち向かわなければならない学生たちにとって、日本の防災機能の知識は必須ともいえます。

「成人の祝い」開催

令和5年度の成人の祝いが1月5日に本部館6階ホールで行われました。本校の2年生を中心に、年度内に成人となる学生たちに対して、学校長から祝辞と記念品が贈られました。

成人代表の、戸部路惟さん(警察官・消防士コース2年制2年)と田辺亜彩美さん(国家・地方公務員初級コース2年制2年)の2人が、これまでの指導に対する感謝の言葉と、新成人となるにあたっての決意を述べました。



研究の成果を発表する学生たち

1年生がフィールドワーク

官公庁訪問などの成果発表

2年制1年の全学生によるフィールドワーク合同発表会が、3月11、12日にかけて行われました。

この発表会は、1年間の学習の総まとめとなるものであり、4月から本格的に始まる公務員試験に向けての下準備となる活動です。学生たちは、事前調査や官公庁などへの取材を通し、目指す職種の研究に取り組み、その成果をクラスメートや教職員の前でパワーポイントを使って発表しました。

研究テーマ設定から官公庁への訪問、プレゼン資料作りまでのすべての過程を学生主体で行うこの活動は、課題解決能力やプレゼン能力を養い、各職種に対する知識を深化・共有させることを目的としています。

本年度は、各学生の志望をもとに合計15班に分かれ、それぞれ検察庁や群馬県庁、県内市役所、警察官、消防官、自衛官などの業務について調査・研究しました。官公庁への訪問では、事前のアポイントメントを取るところから学生が行います。普段は主にSNSを通して連絡を取り合っている学生にとっ

ては、電話やメールで先方とやり取りをする機会は少なく、前期に学んだビジネスマナーを実践する良い機会でした。

発表会では、各班が研究テーマと調査結果をパワーポイントにまとめて紹介。調査を通して得られた情報・データがきちんと見やすくまとめられ、これまでの授業で磨いたPCスキルが生かされていました。

本年度は、地域振興や子育て支援、高齢者福祉、環境政策、都市開発といった将来に向けて、今まさに私たちにとって大きな課題となっているものが研究テーマに選ばれており、学生たちの時事問題に対する意識の高さが窺われました。

フィールドワークは、調べて発表して終わりではありません。ここで得た知識と身につけたスキルが、公務員採用試験において存分に生かされることを心から期待しています。

調査にあたり、協力いただいた官公庁の皆様へ厚くお礼を申し上げます。

熱戦の結果、各種目で上位に入り、バスケットボールでは圧倒的強さを見せた警察官・消防士コース1年制クラス(宮田クラス)が総合優勝を果たしました。

今年は、事務系クラスの学生たちも活躍。国家・地方公務員初級1年制クラスは、バドミントンで他クラスに競り勝って優勝しました。

スポーツ大会で宮田クラス総合V

GLCスポーツ大会が、2月1日に前橋市の群馬アリーナで開かれ、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ドッジボールの4種目をクラス対抗で競いました。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CIS 中央医療歯科専門学校 太田校

〒373-0026 群馬県太田市東本町41-12 TEL.0276-25-8833(代) FAX.0276-25-8841

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

歯科衛生士国家試験

日々の努力実り 19人が合格

令和5年度の第33回歯科衛生士国家試験の結果が3月26日、厚生労働省のホームページで発表され、中央医療歯科専門学校（太田校）では、19人が合格することができました。学生たちの3年間の努力と仲間の協力、講師や教職員の支えが実ったものです。合格した学生たちは、4月から新社会人として、各歯科医療機関で活躍していきます。

歯科衛生士の夢を胸に抱き入学した学生たちは、同じ目的の級友たちと切磋琢磨（せつさたくま）しながら座学や実習に挑み、早い段階から、外部講

師らの指導も受け、国家試験対策を開始しました。

3月3日に大妻女子大学（東京都千代田区）を会場に行われた歯科衛生士



歯科衛生士国家試験に合格した学生たち

国家試験には、前泊して臨み、これまでの学習や実習で得た自信をもって本番に臨みました。

その結果、試験終了後は、手応えのあった学生が多く、明るい雰囲気の中、帰路に就くことができました。

合格した学生たちは、その朗報と自信をもって、就職先に向かいます。今後のさらなる活躍を期待します。

なお、既卒の本校卒業生2人も合格しました。

卒業生インタビュー

今春卒業した先輩に、国家試験に向けた学習法や本校の思い出、抱負などを聞きました。

就職先…
もぎ歯科医院
(伊勢崎市)
野村 祐希さん
(太田市立太田高校出身)



患者さんに寄り添っていきたい

毎日、学習内容振り返り

▽国家試験合格に向けて努力したこと

小さなことでもよいので、大事な点はスマートフォンのメモに残して翌日、その内容が頭に残っているかの確認を毎日行っていました。しかし、時間が経つとその内容も忘れてしまうこともあるので、繰り返し行うことが、本当に大事だと思いました。

また、模擬試験や過去問題を解く時はその答えの正解に満足するだけでなく、他の選択肢はどうして間違っているのか、そこまで考えるとさらに理解を深めることができました。

50分授業で集中

▽この学校で学んで良かったことを教えてください

50分授業で、午後2時には学校が

終わる点です。それは、本校への入学を決めた理由でもあります。実際に3年間を過ごしてみて、50分授業で集中してしっかり勉強することができ、プライベートでは自分の時間を確保しながら、勉強に取り組むことができました。

▽歯科衛生士として今後、どのように活躍したいですか

「歯医者さんは怖い所で行きたくない場所」というイメージが先行し、歯科医へあまり足を運ばない方が結構いるようです。そんな話を耳にする度に、私はすごくもったいないと思います。

そういった患者さんの不安を取り除き、「歯医者さんに行ったら口が綺麗になって気持ちいい」と思ってもらえるように、これから出会う患者さん一人一人に寄り添い、ずっと使い続けることのできる歯を多く残していけるようお手伝いしたいです。

卒業研究発表

口腔内の衛生管理
などテーマに



卒業研究発表した学生たちと学校長、講師

学習成果の集大成となる卒業研究発表会が9月21日、太田市社会教育総合センターで行われ、3年生21人が発表しました。

この発表会は3年間にわたって本校で学んだ知識・技能をもとに、次世代を担う歯科衛生士としての自らのビジョンを盛り込んで研究発表するものです。

学生はそれぞれ歯磨き法、口腔内の衛生管理など歯科関連のテーマを決め、論文・パワーポイントの作成を行い、当日まで発表練習に励んできました。

その結果、発表本番では1人あたり

5分間という発表時間内で緊張しながらも堂々とした発表をすることができました。

1年生にとっては、初めての卒業研究発表会でしたが、「堂々と自信を持って発表している姿に感銘を受けた」「先輩の研究発表に対する熱量に感動した」「着眼点が素晴らしくとても面白かった」「興味深いテーマがたくさんあり最後まで楽しく聞くことができた」など多くの学びがあったようです。

在校生には、これから始まる臨床実習や自身の卒業研究へ、今回の先輩の発表を繋げてもらいたいと思います。

新任職員紹介

湯澤 友美先生

(新1年生担当)



仕事の素晴らしさ伝えたい

この春から本校教務部に入職いたしました。

3月14日に行われたグループ校の卒業式は袴姿の方も多く、華やかな

雰囲気の中国家試験を乗り越えた卒業生の姿はととても素敵でした。この式典に参列させていただき感謝しました。

4月からは1年生の担任・口腔衛生学・歯科衛生学論・歯科医療倫理学を担当します。歯科医院の仕事で培った技術や知識、歯科衛生士の仕事の素晴らしさも伝え、充実した学生生活を送れるようにサポートしていきます。学園の皆さま、よろしくお願いたします。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

歯科衛生士国家試験

夢叶え28人合格

令和5年度の第33回歯科衛生士国家試験の結果が発表され、中央医療歯科専門学校（高崎校）からは28人が合格、歯科衛生士への夢を叶えました。3年間の学生たちの努力とそれを支えた教職員、外部講師の皆さんの努力が実りました。

今年の試験は3月3日、会場は大妻女子大学でした。前泊した学生たちは会場に到着すると多くが緊張したようでしたが、本番では今まで学んできたこと、自分を信じて、それぞれの学生が集中して問題を解きました。その結果多くの学生が歯科衛生士国家試験の合格をつかみ取りました。これまで努力を忘れずに、実社会に出て患者さ

んに信頼される立派な歯科衛生士となっていくことを信じています。今年受験した学生たちは、歯科衛生士国家試験合格を目指して3年間学びました。1年次は座学が中心で基礎的な科目を学びます。2年次になると、さまざまな実習が始まり、それぞれの歯科医院で行う臨地実習に備えて、学生が術者役と患者役になる患者実習な



卒業式で本校を代表して答辞を読む学生（右）

ど行いました。3年次に合計900時間に及ぶ臨地実習が終わると、本格的な国家試験対策が始まりました。授業では試験対策授業が中心となり、秋ごろから放課後の学習も始まり友達同士で勉強して有意義な時間を過ごしていました。試験が近くなるにつれ朝のホームルーム前の補習などもはじまり、クラス全体で国家試験に向かって取り組みました。

学生たちは結果発表に先立つ3月7日、群馬音楽センターで行われた卒業



卒業を喜ぶ学生たち

式で原和則学校長から卒業証書、専門士称号を授与され新たな一歩を踏み出しました。

3年生が卒業研究発表

口腔内の諸課題テーマに



卒業研究発表会に参加した学生ら

本校3年生31人による卒業研究発表会が、9月14日に高崎市総合福祉センターのたまごホールで開かれました。

学生たちは、歯（口腔内）に関わる内容や、いびきやホワイトニング、研磨剤など興味あるテーマを中心に研究

発表を行いました。発表からは、苦勞しながら調査や研究、実験などを行ったようすが感じられました。今回の発表に立ち会った1年生、2年生にとっても今後の自分たちの発表の参考になったようです。この発表会については文集にして学生に配布しています。

多彩な講座・研修

心肺蘇生など学ぶ

1年生が救命講習

看護学の一環として、1年生を対象にした救急救命講習が11月29日に行われました。

当日は高崎東消防署の協力で、マネキンを用いた心肺蘇生の方法・実演を中心に全員で経験しました。

学生からは、「思っている以上に力



心肺蘇生などを学んだ講習会

が必要」などの感想が多く出ていました。

スーツ着こなし講座

臨地実習前に2年生

8月28日、2年生を対象にしたスーツ着こなし講座が洋服のコナカの協力で行われました。

この講座の目的は、2年生の秋から始まる歯科医院での臨地実習に際し、その期間はスーツで通院します。そのため着こなし方次第によっては第三者に与える印象が大きく異なるため、この講座で着こなし方やマナーを学ぶものです。

学生たちは、講師から清潔感と正し



スーツの着こなしを学んだ講座

いマナーでスーツを着こなすことなどを学びました。この体験が、臨地実習や今後の就職活動に役立つものと期待しています。

体験コーナーや模擬店 合同学園祭に本校参加

本校は、9月30日にGメッセ群馬で開催された中央カレッジグループのグループ校合同学園祭に参加しました。

今回の学園祭は、広い屋内展示場と屋外展示場を使用して行われ、本校は屋内でトゥインクルスマイルスペースと題した体験コーナーを設置。そこで、宇宙を連想させる空間を演出し、歯のストラップ作りや顎模型に触れてもらいました。屋外では、模擬店を2店舗出店しました。1店舗は数種類のフレーバーを使ったポップコーンと、もう1店舗はマシュマロを挟んだスモアサンドを提供しました。準備期間中は、体験コーナーや模擬店で使用する看板や試作品を作り、食品に関しては皆で試食を行い、何度も味のチェックをし



体験コーナーを設けた屋内展示



模擬店にもぎやかに

ました。学園祭当日は多くの来場者でにぎわい、大盛況のもと終えることができ良い思い出となりました。

ワードやエクセルなど基本を選択授業で学習

本校では1年生を対象に、放課後を利用して選択授業を行っています。

特にワードやエクセルなどパソコンの基本的な知識を学ぶ選択授業＝写真＝は、実社会に出てすぐに役に立つものです。



学生たちは、最終的には検定試験の取得を目指すため、日々真剣に受講・練習しています。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

令和5年度卒業生

就職100%を達成 「農」「食」など多彩な職場へ

中央農業大学校では、本年度も就職100%の実績をあげています。全員内定は開校以来連続です。卒業生は4月から、生産から加工・流通・販売の現場、独立就農とさまざまな職種で活躍していきます。

早期就職内定の背景には、農業や食などの基礎的な知識から応用力を身につけ、また技能技術・各種資格取得をしたことが評価され、本校での学びに関連した企業などに内定することができました。

さらに、担任をはじめ教職員、就職指導センターとの連携、学園主催の就職ガイダンスも内定に大きく結び付きました。今後は、本校で学んだ知識・技術や資格を活用し、新たな世界で活躍してくれることを期待します。

卒業生の主な就職先(順不同)

- 株式会社群馬クボタ
- 株式会社クリハラ
- コメリ株式会社
- 株式会社エバーグリーン富士見
- ジャパンアップル株式会社
- 磯のうえん
- 株式会社エイジェック
- 株式会社アサヒ
- 内野農園
- 和田農園
- 三益半導体工業株式会社
- 株式会社岡村
- くら寿司株式会社
- 新規就農

活躍する卒業生

本校を巣立った先輩たちは各職場で頑張っています。今回は農業機械会社の営業部門で、地道な努力を積み重ね「新人王」を獲得した森田さんにインタビューしました。

地道な努力実り、営業部門で新人王

株式会社群馬クボタ高崎営業所勤務

森田 圭哉さん

(農業経営学科、2021年卒業)

私は、株式会社群馬クボタで農業機械の訪問販売を担当しています。

農業機械の販売は、お客様のニーズを把握し、それに合った機械を提案することが重要です。私は、お客様がどのような農業を営んでいるのか、どのような機械を必要としているのかを、丁寧にヒアリングし、お客様に最適な機械を提案できるよう努めてきました。

また、先売りの心掛けと大手の担い手さんへの訪問や商品提案の積み重ねが、群馬クボタで売り上げ1位、クボタグループの関東地区で2位の成績を収め「新人王」の賞をいただくことができました。

今後の目標として、機械や農業の知識がまだまだ必要なので、先輩やお客様との関わりを通じて、農業の知識はもちろんのこと、アフターフォローで必要となる整備の知識も増やして関東



農業機械をチェックする森田さん

で1位の売り上げ達成を目指していると思います。

就職活動を行う後輩たちに先輩としてアドバイスできることは、農業機械の会社で働くことを目指しているならば、農業の知識を一つでも多く増やすことが大切だということです。農業の知識が増えると、お客様との会話が広がります。今後も夢に向かって頑張ってください。

先輩に続きます

就職先：株式会社群馬クボタ

神谷 豪俊さん

(農業経営学科農業 ICT 専攻)

私も先輩方の後に続けるよう、本校で学んだ農業の知識・機械の知識を基礎に、お客様のニーズにあった機械を提案できるノウハウを身につけ販売から整備のできる人材として

取り組んでいきたいと思っています。

そして、お客様とのコミュニケーションを大切にしながら、信頼をいただける社員として、早く仕事を覚え、会社に貢献できるよう励んでいきます。



卒業研究発表する卒年次生

栽培や経営など多彩に

対面式で卒業研究発表

2年間の学習の集大成となる卒業研究発表会が2月20日に行われ、選抜された8つの班がそれぞれの研究を発表しました。

昨年度まではコロナ禍のため、発表会場の参加人数を制限、1年生や特別講師の先生方には、ライブ配信で視聴してもらいましたが、今回は4年ぶりに対面式の発表会。質疑応答も活発に行われ会場には活気が溢れていました。

各班の発表テーマは、多品目少量栽培

実践における農業経営シミュレーション、お弁当のレシピ提案から商品開発における観点の違い、海水農業などさまざまでした。

また、継続的に農業スキルを上げるための基礎づくりでは、エクセルを用いた効率良い記録書式、自動計算ツール、栽培管理の自動化ツール構築など、今後の農業経営や社会で役立つ内容で発表が行われました。自ら立てたテーマのもと“やって・みて・考える”を実践しながら、失敗と成功を繰り返し取り組んできた卒業研究。入学時と比べて格段に成長した2年生の姿を目に感動しました。

新任職員紹介

加藤 ^{たかよ} 貨代先生
(教務担当)



今後は、教員としてのノウハウや、学校イベントなどを通して、さまざまな知識やスキルを学びながら、日々、自身の成長につなげていきたいと思っています。

学生サポートに全力

3月から本校で働かせていただくことになりました加藤です。

農業に興味をもち、神奈川から農業の勉強をしたいと群馬に来て、本校で2年間、農業を学ばせていただきました。昨年3月に卒業した後も、1年ほど非常勤講師として、簿記とドローンの授業を担当させていただきました。先生方にはたいへんお世話になっておりましたが、今回、改めて正職員として一緒に働かせていただくことになりました。

まだまだ未熟な自分ではありますが、学生一人一人の成長をサポートできるよう尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。

(加藤先生は在学中、群馬イノベーションアワード2022のビジネスプラン大学生・専門学校生の部で「ボイセンベリー栽培で鳥獣害から守る農業」を提案、部門入賞と関東経済産業局長賞を受賞しています)

第10回お弁当コンテスト

藤岡北高校の山浦さんV2

「地産地消」をテーマにした第10回お弁当コンテスト（主催・中央農業大学校）を実施、高校生などから434作品の応募がありました。

審査は、地元の食材や特産品を活用し、地産地消食材を2品以上、1食の材料費500円程度を基本として、分量・盛り付け、メニューや栄養のバランス、調理方法などを対象に行われました。

結果は、最優秀賞に藤岡北高校の山浦菜奈さんの「再び、思いよ花開け！みんなを笑顔に!!勇往邁進 わっぱ飯弁当!!!」が選ばれました。山浦さんは昨年に次いで2連覇となります。

他の賞は、上毛新聞社賞に藤岡中央高校の吉井愛結さんの「ギュッと詰め

多彩な活動を展開



最優秀に輝いた山浦さんのお弁当作品

ました！ぐんまの恵弁当」、特別賞には、伊勢崎商業高校の須田唯斗さんの「群馬を召し上がれ!!～肉とたっぷり野菜のバランス弁当～」が選ばれました。

本年度のコンテストは10回目の節目となり、地産地消の意識も浸透し作品の仕上がりもレベルが高いものでした。

有機農産物使い 6次産業化実践

有機JASで認証されたほ場では、ニンジンとジャガイモの栽培を行いました=写真。ニンジンは消費者に喜んでいただけるよう、甘みが強く、臭みのない品種「ひとみ5寸」にしました。

収穫された農産物は学校直売所のほか、果実工房ありさかでも販売しました。

また、6次産業化の実践として、有機ニンジンのジャム作りにも挑戦。このジャムは教育成果発表会で来賓の方々へ配られ、好評を博しました。

今後はこの経験を元に、有機ニンジンの生産や加工技術の確立、パッケージデザインの創作、ECサイトを含めた販売ルートの開拓などに取り組みます。



トレビスなどの イタリア野菜試作

イタリア野菜の試作も行いました。イタリア野菜は国内での入手が困難で、輸入に頼るものが多くあります。そのため、地場産のイタリア野菜が提供できれば、それを使っているイタリ

GGCと本校学生がコラボハンバーグメニュー開発

ファーム農業経営学科の学生が、6次産業商品開発の授業で、ステーキ&ハンバーグ店「株式会社GGC」とのコラボレーションでメニュー開発を行いました。同社との連携は2024年2月で10年目、メニュー開発は21回を数えます。

今回は、2月の限定ハンバーグメニューを開発。採用されたのは、高木和華さん（勢多農林高校出身）の「冬のハッピーバーグ～カルボナーラソース～」です。たっぷりのモッツァレラを使ったチーズインハンバーグにゴダ



メニュー開発した学生(中央)と関係者

チーズ、カリカリベーコンにブラウンマッシュルーム入りカルボナーラソース、ぶるぶる目玉焼きをのせ仕上げました。

販売期日は2月1日～2月29日の1カ月間で、ハッピーバーグ高崎倉賀野店で販売されました。今後も、同社とのコラボレーションは継続していきます。

中央農業大学校 6次産業化施設

中央フレッシュフーズ株式会社

工場・直営売店
住所：〒370-0012 高崎市大沢町227-1
TEL 027-386-4382 <https://chuo-fd.jp/>

果実
工房
あり
さか

開業から2年、順調に 紀ノ國屋と新規取引

スーパー関係では既存の取引先であるJAファーマーズとフレッシュに加え、2月15日から東京都内を中心に店舗展開し、こだわりの食品販売に定評がある紀ノ國屋との新規取引が始まりました。当社のフルーツサンドとフルーツタルトが関東近郊の店舗約30店舗で販売されています。今後も県内大手スーパーとの取引が予定されているなど、さらなる販路拡大が見込まれています。

高島屋、イオンのイベント 約2500個を販売

11月から1月にかけて行われた「第9回ぐんまフェア」（令和5年11月2～6日・イオンモール高崎、令和5年11月8～12日・イオンモール太田）、「第45回群馬展～ふるさと

の味と技の競演～」(令和6年1月17～23日・高崎高島屋)に出店=写真=、合計で約2500個のフルーツサンド・フルーツタルトを販売しました。

販売には中央農業大学校の食品開発デュアルシステムコースの学生も

全商品「300円均一」で 毎月第3土曜日に開催

果実工房「ありさか」では、フルーツサンド商品を全て300円（税別）で販売する「300円均一」イベントを毎月第3土曜日に開催しています。2月のイベントでは開店前に行列ができるなど賑わいました。今後も毎月開催する予定です。



参加。販売にあたり、自分たちが製造している商品について、自分の言葉で説明していました。販売に参加した学生にとって、直接お客様の声を聞くことができた貴重な機会となりました。

▽新商品も続々登場

直売店では新商品も続々と登場していて、旬のイチゴを使用した商品を中心にお客様からたいへん喜ばれています。運営する中央フレッシュフーズ株式会社の新井大介専務は「イベントや出張販売を通じて果実工房ありさかの名前を知ってもらい、一人でも多くの方に新鮮で美味しい商品を届けたい」と話しています。



新鮮な果物を使用したフルーツサンドなどを製造販売する中央フレッシュフーズ株式会社は、事業開始から2年が経過、製品数も増大、販路も拡大中です。工場直売店「果実工房ありさか」での販売に加え、近隣の専門学校・大学や群馬大学医学部附属病院、自衛隊（朝霞・練馬・相馬原・新町）への出張販売、さらには各地で行われるイベントにも積極的に出店しています。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CID中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

「CID EXPO 2024」開催

見て、触れて、体験する

学習の成果を分かりやすく

中央情報大学校は2月17日、Gメッセ群馬を会場に、学生・教職員一体となって「CID EXPO 2024」を開催しました。

この催しは、学生の学習成果を作品として展示し、多くの方々に学生の技術力を「見て」「触れて」「体験して」もらう企画で、3回目の開催。AIやIoTなどのICT分野、3DCGやプロダクトなどのデザイン分野、スマート家電やLEDなどの電気通信分野など、さまざまな分野の技術を集結させ、学科の垣根を越えたプロジェクトチームで研究開発した成果を披露しました。

イベントステージでは、留学生による日本語スピーチコンテストや情報系学生によるプログラミングコンテスト、サブステージではeスポーツ大会など、多くの参加型のイベントを実施しました。キッチンカーも出店し、食事をしながら楽しめるイベントになりました。

コロナ禍を経て今回は、一般来場者も数多く参加し、学生たちの学習の集

大成を体験していただきました。

当日のライブ配信では、国内のほか北米やヨーロッパからもアクセスがありました。

第1回から引き継いだ研究については、より進化した研究内容として、ドローンブースは自動操縦化となったり、スパイ体験は学生作のシューティングゲームを取り入れたりしました。今後もより一層の進化が期待できます。



家族連れも楽しく



開会式で集合する学生実行委員



スパイ大作戦に挑戦



ライブイベント



デジタル庁からデジタル推進委員に任命された学生たち

本校学生がデジタル推進委員に デジタル庁が7人を任命

群馬県警察サイバーセンターから委嘱を受けている本校のサイバーパトロールコラボレーター7人が、デジタル庁からデジタル推進委員に任命されました。

この7人は高度ICTデザイン学科・情報システム学科の学生で、県警と協力してインターネット環境の治安を守るサイバーパトロールコラボレーターとして活動・活躍しています。

デジタル推進委員とは「誰一人取り残されない、人にやさしいデジタル社

会」の実現に向けた取り組みを推進していくものです。これまでの有害情報の通報やショッピングモールでの啓発活動などが実を結び同委員に選ばれました。

今後は技術を幅広く活用するだけでなく、ICTを苦手とする方にも優しい環境を整えていくことも重点課題として、改善していきます。任命された学生は「社会貢献ができる嬉しさを感じ、責任を持って活動したい」と熱心に語ってくれました。

また群馬県からの委託を受け、DX推進に関する中小企業向けの各種講座を高崎、前橋、太田の産業技術専門校で開催し、高い評価をいただきました。来年度は今年度を超える10講座以上の依頼が来ています。このほかにも、国家資格である基本情報技術者試験の指導や書籍選定におけるポイントなどの取材を受けました。

東京ゲームショー2023 学生が本校ブース出展

「東京ゲームショー2023」(2023年9月21～24日)に、高度ICTデザイン学科3年生と4年生が出展しました＝写真。東京ゲームショーは、幕張メッセにて開催される日本最大級のゲームイベントです。

本校は学生が制作したゲーム「Azure Kinectを活用した参加型計測システム」「アクションゲーム『ZANGEKI WANDERERS - ZANGEKI IV -』」2点を出品、来場



者に試遊していただきました。最先端のゲーム情報や、来場者からリアルなフィードバックをいただき、学生は刺激を受けていました。



完成した作品披露式に参加した関係者

伊香保舞台にメタバース空間 フォートナイトが完成 本校学生が負荷試験に協力

本校とDXに関わる教育連携している渋川伊香保温泉観光協会が、伊香保の石段街を再現したフォートナイト(Epic Games)のステージを制作。この度、完成披露と体験会を3月19日にフリーラボで行いました。

中島慎太郎学校長と渋川伊香保温泉観光協会の関口征治会長らが出席した成果物披露では、制作の経緯や



伊香保舞台の対戦ゲームに挑戦する学生たち

試遊法などが語られました。

これに先立ち1月16日には協会メンバー立ち合いのもと、本校学生30人がテストプレイ。伊香保に訪れたことのある学生からは完成度に感嘆の声が上がりました。ステージは、バトルロイヤル形式のため、学生たちは真剣に競い合いました。合計3回の挑戦(負荷試験)でも問題やトラブルはなく、協会メンバーは安堵していました。

外部向けの講演・講座など 内池先生がDXを講義

本校教職員は、外部講座にも積極的に取り組んでいます。内池雄先生は、DX委員として本校のDX取組事例を全国の専門学校教員向けに講演。専門学校の中でもDX推進を先進的に実施している本校の事例を発表しました。

中央情報大学校では、国家試験合格者やコンテストの上位入賞者が相次いでいます。学生たちの日々の努力が成果として表れました。

国家試験合格やコンテスト入賞相次ぐ

第一種電気工事士に 15 人

電気通信学科と国際エンジニア学科では、第一種電気工事士に15人が合格（本校合格率93.4%、全国合格率47.9%）、第二種電気工事士では10人合格（本校合格率100%、全国合格率48.8%）など難関の電気分野の国家試験に多数の合格者を輩出しました。

電気通信学科では第一種電気工事士は1年次での全員合格を目指しており、本年度受験した1年生全員が合格しました。試験に向けた対策として集中講義を行い、授業では試験形式での対策を行いました。昨年9月には校内で電気点検見学も行い、座学のみならず

実際に機器の配置などを見ることで知識の定着を図ってきました。今後も座学と実習を効果的に行いながら検定指導をしていきます。

【第一種電気工事士試験合格者】

(カッコ内は出身校)

▽電気通信学科2年=角田京介(わさがく高校)、松坂伍巳(常磐高校)

▽電気通信学科1年=赤羽啓剛(佐久平総合技術高校)、浅見海空(S高校茨城つくば本校)、新井康之(伊勢崎工業高校)、山保巖(吉井高校)、下川次朗(伊勢崎工業高校)、早乙女隼斗(桐生工業高校)、高橋龍平(吉井高校)、



成果発表会で表彰される電気工事士試験合格者

滝上陽(高崎商業高校)、深石貴哉(利根商業高校)、村上天哉(須坂創成高校)、吉井湊耶(伊勢崎工業高校)

▽国際エンジニア学科3年=王興強(NIPPON語学院)、NGUYEN DAI NGHIA(前橋国際日本語学校)

「地元PR賞」に3作品



「地元PR賞」に輝いた3人の作品(右から内田さん作品、羽田さん作品、清水さん作品)

マンガ部門で木村さんが奨励賞

第11回GUNMAマンガ・アニメフェスタ

第11回GUNMAマンガ・アニメフェスタ(主催・同フェスタ実行委、群馬県、県教育文化事業団)のマンガ部門でポップカルチャー学科2年の木村茅登さん(社会人入学)が奨励賞を受賞しました。木村さん2作目のマンガとなる本作は、2人の女子高生の友情・愛情そして纏わりつく狂気の思いに最

後ズツとさせられる16ページのホラー作品です。

本コンテストでは木村さんのほかに、マンガ部門、イラスト部門で3人が入選しました。



奨励賞の木村さん作品

Rethink Creative Contest 2023

プロ・アマチュア問わず、全国のクリエイターが参加するポスターコンテスト「Rethink Creative Contest」で、本校クリエイティブデザイン学科1年の清水彩緒里さん(社会人入学)、羽田千菜さん(前橋育英高校出身)、内田優香さん(社会人入学)が『地元PR賞』を受賞しました。

このコンテストでは、日常の身近なテーマを題材にし、地域の魅力をクリエイティブな感覚で発信してもらおうと日本全国から地元の魅力を表現したポスターを募集するもので、今回は全国から過去最多となる601作品の応募がありました。

受賞した3人とも地元をリシンクし表現した素晴らしいデザインと発想が評価されました。

2年連続で奨励賞受賞

ゲーム制作コンペティション

全国電子工学系学校ゲーム制作コンペティションで、高度ICTデザイン学科3年「わくせいたんけんたい」チームの作品が、決勝12作品に選出され、12月2日にポートメッセなごや(愛知県名古屋市)で行われた決勝大会に出場、奨励賞を受賞しました。

このコンペは、若年世代の才能の育成とシニア世代の認知予防・脳年齢活性化を目的として始まった「脳トレゲーム制作コンペティション」です。今年度は知育・認知予防に向け



本校ブースで説明する学生

た「みんなで創り上げる」がテーマ。「知育」の視点は、今回からの新しいポイントです。

決勝大会では福祉・医療施設関係の皆様や特別審査員に向けてプレゼンテーションを実施するとともに対面で遊び方を説明しながら実際に遊んでいただき、2年連続で奨励賞を受賞することができました。

留学生日本語スピーチコンテスト



他校生も参加した留学生による日本語スピーチコンテスト

他校生徒も交え、学習成果発表

国際エンジニア学科と日本語学科では、日本語での表現力の向上を図るとともに、留学生が日本語で自分の考えを発表する機会として日本語スピーチコンテストを行っています。

4回目の開催となった今回は近隣県の日本語学校にも参加を呼びかけ、本校代表5人、上尾国際教育センター、Fuji Language School、中央情報経理専門学校から3人が参加、総勢8人で

の発表となりました。

本選では、司会や運営サポートも学生たちで行いました。大きなステージとたくさんの観客に加え、今回は他校の参加者もいることに出場者や司会の学生たちはいつも以上に緊張していました。参加者による投票の結果、最優秀賞は中央情報大学校日本語学科のダヌケ キランさん(ネパール)が選ばれました。普段の練習の成果を存分に発揮できず、悔しい思いをした学生もいましたが、終了後には「とても良い経験になった」という感想が多く聞かれました。

日本語学科学生が初詣体験

日本語学科1・2年生24人が1月5日、初詣に行きました。昨年は高崎市内の榛名神社でしたが、今年は群馬県を飛び出し埼玉県の大宮山神社へ行きました。バスの道中では、普段見る高崎市内の風景とは違う、長瀬川の渓流や川沿いを走る貨物列車に歓声を上げていました。神社では、正式な神社参拝の作法に則り、二礼二拍手一礼で厳

かに参拝しました。きれいに飾られた境内で写真を撮ったり、参道のお店でお団子や甘酒をいただいたりして、日本文化を楽しみました。神社参拝の後には、ロープウェイで宝登山に登りました。母国にはない50人乗りの大きなロープウェイや、小動物園での動物とのふれあい、山麓の蝦梅園からの絶景に喜んでいました。今回の初詣は、日本文化を知り、これからの日本の生活をより豊かにできる経験になりました。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

美容師国家試験

本科・通信合わせ98人合格

「理容師」は3年連続100%

学生生活の集大成となる第49回の「美容師国家試験」「理容師国家試験」の結果が、3月29日に発表され、高崎ビューティモード専門学校から「美容師」に98人(昼間91人、通信7人)が合格。また「理容師」は受験者全員が合格、3年連続で100%を達成しました。両試験とも合格率は県下ナンバーワンでした。この結果は、日ごろの学生の頑張りや教職員の支えが実ったものです。

国家試験は、2月7・8日の2日間にわたり、群馬県理容専門学校で実技試験、3月3日にGメッセ群馬で筆記

試験が行われました。実技試験は、1日3組に分かれて受験をしました。当日、各組が出発する

時にはともに合格を目指して勉強してきた仲間たちが激励をしに来てくれました。緊張していた学生たちの表情に笑顔や感動の涙がありました。そして、会場へと向かい、本番に臨みました。筆記試験では学校から会場までが徒歩で行ける場所となったこともあり、学生たちは午前中に学校で最終の模擬



受験本番に向け出発する仲間を激励する光景も随所に

試験を受けてぎりぎりまで勉強をしていました。2年間の集大成の試験を終えた学生たちは、結果に対しての不安を抱えながらも、みな達成感に満ち溢れた表情を見せていました。

夢に向かって

卒業生メッセージ

本校を今春卒業し新たな道に踏み出した先輩たちに、後輩に向けメッセージを寄せてもらいました。

就職先：劇団四季

桑原 蘭さん

(国際美容師学科ヘアメイクコース、高崎商科大学附属高校出身)



早くから劇団四季に絞る

▽早期内定が決まった要因

私は劇団四季でずっと働きたいと思っていました。そのため、早い段階から劇団四季を受けるために必要な努力をしてきました。そのおかげで1次試験から焦ることなく、落ち着いて試験を受けることができました。私は劇団四季以外の就職先を考えていなかったため、ひとつの会社に集中して就活に取り組むことができたことが一番の要因だと思っています。少しでも行きたいと思った会社やサロンが見つかったら、その会社のことや就職において必要な条件を調べておくと思えます。

▽学校での2年間

私は専門学校の2年間はいちばん頑張った2年であり、いちばん楽しかった2年でもありました。実技が上手いかわりにやめたくなくなりましたが、クラスの仲間と同じ目標のために努力して、馬鹿みたいにならなくて、時には先生も巻き込んで笑いあった日々が一生忘れられない宝物になりました。そんな2年間にも終わりが来てしまい、とても寂しいですが、私の学生生活の最後を、本校で送れたことを本当にうれしく思います。

▽後輩へ一言

クラスの仲間と先生方と仲良くなって損はないと思います。技術の向上だけでなく、毎日が楽しくキラキラしたものになると思っています。たくさんの仲間と共に夢を叶えるために頑張ってください。自分のやりたいことをやるために本気でぶつかるのも悪くないですよ。良い学校生活が送れますように。

就職先：日本ロレアル(株)

鶴田 有希さん

(国際ビューティ学科メイクアップアーティストコース、第一学院高校高崎キャンパス出身)



自ら積極的に就活

▽早期内定が決まった理由

早期内定の要因は、1年生の年明けころからマイナビやリクナビを使用し、気になる企業をピックアップし、積極的に企業説明会に参加したことです。学校でも企業説明会などがたくさんありますが、自分から行動することが大事だと思います。それにより私は、無事に日本ロレアル株式会社からの内

定をいただくことができました。自ら、早め早めの行動を行うことが早期内定の要因だと感じました。

▽学校での2年間

国際ビューティ学科の学生は皆明るく、毎日楽しく過ごしています。授業もさまざまな分野の知識や技術を学ぶことができるので、自分が将来何をやりたいのかしっかりと考えることができ、また選択肢も広がったと感じています。

▽後輩へ一言

本校では先生や仲間たちと美容を追求し、トータルビューティーを学ぶことができます。また、イベントなどもたくさんありますので、学びと学生生活の両方をぜひ楽しんでください。

卒業生の現在 23

今回紹介する卒業生は、1期生の松本勝也さんです。松本さんは、総合美容学科を卒業し、髪質改善専門店を上尾店、浦和店、青山店にオープン。3店舗を経営され9年が経ちます。

「LIFE」=埼玉県上尾市

松本 勝也さん(1期生)

(総合美容学科卒)

やりがいのある仕事

「美容師は、お客様の一生に携わり、お客様から『ありがとう』と言ってもらえる素敵な仕事です。自分の好きなことを仕事にし、頑張ったら頑張った分自分に返ってくる、やりがいのある職業です。お客様から、感謝と喜びをいただくたびに美



容師になって良かったと思っています」と、目を輝かせています。

本校の就職総決起大会では、OB座談会にゲストとして経営者目線で後輩へのアドバイスもしていただきました。

松本さんの今後のさらなるご活躍をお祈りしております。

合同学園祭に参加 慈善ネイルサロンも

中央カレッジグループ11校合同学園祭「第57回かわせみ祭」が令和5年9月30日、Gメッセ群馬で開催され本校も展示や体験ブースなどで参加しました。

展示ブースでは、ヘアウィッグ、ネ

イル、絵画を展示し、体験ブースでは、ネイルサロンの「チャリティーネイルサロン」をオープンしてネイル体験をしていただきました。ネイルサロンのチャリティーで集まった募金は「ピンクリボン」団体に寄付しました。また、本校7つの模擬店では、焼き鳥、クレープ、タピオカなどたくさんの美味しい料理を提供しました。

ディプロマ試験

4部門で技術披露

国際ビューティ学科

国際ビューティ学科では、2年間の技術の集大成となるディプロマ試験を2月20・21・22日の3日間、実施しました。

1日目及び2日目は、エステ・メイク・ヘアセット・ネイルの4部門において、相モデルで制限時間内に仕上げるトータルビューティ技術の試験となっています。

開催にあたり、学校長が、「皆さんにとってこのディプロマ試験が、国家資格と同じように価値あるものとして、今後の皆さんの励みになることでしょう」とあいさつ。その後、担当の先生から注意事項が伝えられ、学生の緊張が高まる中、試験が開始されました。

エステでは、クレンジング・フェイシャルマッサージ、デコルテのマッサージを行います。エステで肌を整えた

後は、メイク技術としてパーティメイクをモデルのパーソナルカラーに合わせて行いました。その後個性の演出を考えたヘアデザインを作り上げ、最後にネイルで指先を綺麗に飾り、技術は全て終了となります。学生たちの緊張が一気に解けた瞬間でした。

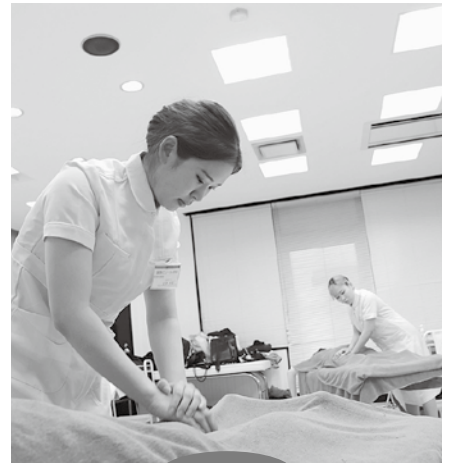
実践を想定した一連の技術を行い、モデルを美しく仕上げることで、カウンセリングや接客技術も養われる内容



メイク



ネイル



エステ



ヘアセット

になっています。

3日目は、エステ・メイク・ネイルの特殊技術試験となり、全身リンパマッサージ・デザインメイク・デザインスカルプチュアの各コースに特化した技術の成果を披露してくれました。

試験のはじめのころは、審査の先生の視線に、緊張のあまり手が震えている学生もいましたが、時間が経つにつれ少しずつ緊張もほぐれて、普段の力が発揮できていたようです。

厳正な審査により、最優秀者にはゴールドライン、優秀者にはシルバーラインの賞状が3月7日の卒業式の日



コンテストで表彰された学生たちと教職員

17種目で成果競う

学生コンテスト

第4回TBM学生コンテストが令和5年12月1日に行われました。このコンテストは、日ごろの学習成果の発表の場としてコロナ禍でも毎年開催されてきました。

コンテストに向けた技術向上を目指すため、放課後残って練習している学生たちもいるほどの盛り上がりでした。

コンテスト種目は、「ワインディング部門：WDⅠ、WDⅡ、WDⅢ」「オールウェーブセッティング部門」「カット&カラー部門」「ヘアデザイン部門」「エステ部門：Ⅰ応用、Ⅱ基礎」「ネイル部門」「メイク部門Ⅰ、Ⅱ」の11

種目。展示部門で「デッサン」「創作ウィッグ」「まつエク」「ネイル」の4種目。フォト部門では「ヘア部門」「メイク部門」の2種目となり、合計17種目で行われました。

1年生は、初のコンテストに向けて戸惑いながら必死になって取り組んでいました。

参加2度目となる2年生にとっては、昨年よりも技術レベルを上げて、エントリー種目で上位の成績がとれるように力を入れていました。

学生たちからは、「技術レベルも上がり、普段の授業とは違った環境で楽しかった」「学年を超えての交流が良かった」などの感想も聞くことができました。

しく、笑いあり、涙あり、感動ありの豪華な世界でした。

美容学生として、演技はもちろん舞台の工夫やメイク、髪型など舞台裏の仕事視野に入れて鑑賞していました。

この経験は、これからの美容実習のモチベーションアップに繋がったと思います。

舞台鑑賞など楽しむ

秋の国内研修旅行

本校の1年生の国内研修旅行が11月9日、東京・横浜方面1泊2日で行われ、劇団四季「アラジン」鑑賞などを楽しみました。

劇団四季の舞台は、歌もダンスもストーリーもどれをとっても素晴ら

ABE認定講師

【まつ毛エクステンション】

秋山先生と持箸先生が取得

本校では、2人のABE認定講師が誕生し、校内で日本理容美容教育センター認定ABE試験【まつ毛エクステンション】ができるようになりました。

認定されたのは理容師・国際美容師学科の秋山美絵先生、国際美容師学科の持箸来未先生です。

同試験の認定講師になるには、美容師免許を受け、理論及び技術に優れ、教授するにふさわしいと、教育センター理事長が認めた者でなければなりません。

認定試験は、まつげエクステンションの理論・技術の受講が必要で、受講した人のみ受験することができます。授業の理論では、まつ毛エクステンション概論・用具・カウンセリング・衛生管理・保健について学びます。実技では、ワゴンセッティング、ツイザーワーク（かき分け・装着）、テープ



認定講師となった持箸先生(右)と秋山先生(左)

ワーク、リムービング、デザインについて35時間以上学びます。試験は筆記試験と実技試験があり、両方の合格で合格証が交付され、その後美容師免許の取得ができると、ABE Assistant director認定証と認定証書の交付になります。

同認定を取得すると、基礎を理解しているため、サロンへの就職に有利です。またサロン側としても、基礎を一から教えるというより確認からスタートできるので、スムーズにサロンワークに入ることができます。

この資格を学生に取得させ、即戦力として活躍できる人材を送り出せるよう2人には期待しています。

職業の意義を考える IMS研修を2度開催

国際美容師学科1年生を対象にしたIMS研修が、5月15日と1月9日の2回にわたり高崎アリーナで行われました。

講師は、「一生美容に恋する会」メンバーと13人の美容師の方々と、「職業の意義を考える」をテーマに研修していただきました。

研修は、「美容という職業に対しての重要感・必要な考え方・価値観を持つきっかけを与え、自分の言葉で表現することで、自分の人生を自分で切り

開くための勇気を得て、一生幸せな美容人生を送ってもらう」を目的とし、「①先輩美容師と共に、美容の素晴らしさを考え、自分自身の言葉で表現し、未来の活力とする。②発表することで、周囲からの指摘をもらい、自分の強みと改善点に気づき、自信をもつ。」をゴールイメージとして実施。

さまざまなキャリアの美容師の方々から、「壁にぶつかった時の乗り越え方」「人間関係がよくなるための考え方、振る舞い方」「将来の夢を実現するために今やるべきこと」などを語っていただき、学生たちは、自分自身の将来像を描くことができました。

学校法人 有坂中央学園 国家資格 愛玩動物看護師 指定養成所・群馬サファリパーク職業教育連携校・北軽井沢地域職業教育連携校

CAN中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

第18回全国選抜トリマー選手権大会(主催・全国動物専門学校協会)で本校の岡田彩さんがミドルクラスで準優勝に輝きました。本人と指導教員の声を取材しました。

初めて競技会に出場することが決まった時は、喜びとともに大きな不安を感じました。

当初、カットの手順も分からない状態から大会に向けて練習がスタート。ウィッグも思うように切れず、自分の実力の無さに悔しさを感じました。それでもクラスの友人や先生方に応援してもらい、練習を頑張ることができました。学校犬の「ぴりか」をカットした時は、失敗を恐れて中々切り込むことが出来ず、未完成のままに。その時は既に、大会まで1カ月を切っていました。

残りの1カ月は、ブリーダーの犬や学校のファミリー犬で練習に取り組み、とうとう本番当日に。不安と緊張

全動専の全国選抜トリマー選手権大会で準優勝

岡田 彩さん(動物美容学科1年)

練習の成果実り感激

次はハイクラスV目指す

の中競技会がスタート。練習の成果が功を奏し、練習通りのカットができました。

成績発表の時、会場に自分の名前が響いた時は本当にうれしかったです。

【岡田さんを指導した赤坂成美先生コメント】
得意部門を伸ばす指導を

全国選抜トリマー選手権大会出場は、私にとっても挑戦でした。選手学生の変更などがあり、本番まで3カ月ほどしかない状況でのスタート。練習

先生も喜んでくれて本当に出てよかったと思いました。来年はハイクラスで出場して優勝を狙たいです。

期間がないので普段の授業ではもちろん、放課後や祝日などに時間をつくり、二人でとにかく練習を重ねました。

指導ポイントは、苦手なところよりも得意を伸ばすことに重点を置いたところです。練習不足からどうしても不



競技を終えた岡田さんと学校犬「ぴりか」

安がでると思い、最終練習日はイメージトレーニングと不安解消の時間につかい、本番については「自信をもって思い切りやること」と伝えました。

当日はハラハラする場面もありましたが、勝負強さを発揮し、見事準優勝。表彰式で岡田さんの名前が呼ばれた際は自分のことのようにうれしく思いました。今回の経験を胸に、今後も自信をもって頑張りたいです。

就職内定者インタビュー

本校で技術や知識を学んだ学生たちは、次々と業界に就職を決めています。その経験を後輩に残してもらいました。いずれも動物飼育学科です。

就職先：(有)ニューサンドッグ
ディスワン藤岡インター店

高田 駿さん
(高崎高校通信制出身)

企業説明会が
きっかけ



▽就職先を選んだ理由

動物園の飼育員になることを目指していましたが、実習などを経験して「自分にはペットショップの方が合っているのでは」と考えるようになりました。そのタイミングで内定先の社長が学校へ企業説明に来てくれたことで興味を持ちました。実習でお世話になった際、店舗の雰囲気も良かったためここで働きたいと思い決めました。

▽就職活動で頑張ったこと

普段の生活から細かいところを観察して自分にできることはないか探すようにしました。そういった面から積極的に行動できるように努力しました。

▽後輩にメッセージ

何事にも興味や関心を持ったから早めに行動するべきです。自分の向き、不向きにも気付けるし、その先の行動も余裕をもってできると思います。

就職先：那須サファリパーク

安達 楓さん
(桐生高校出身)

飼育環境に
好印象持つ



▽就職先を選んだ理由

大好きなビントロングがいる那須サファリパークへ実習に行かせていただきました。実習では、パーク内の雰囲気や飼育環境がとても良いと感じ、ここで働きたいと強く思いました。思っていた以上に大変なこともあったのですが、あきらめなくなかったので絶対に頑張ろうと決意しました。

▽就職活動で頑張ったこと

面接対策です。事前準備としてお客様の目線や飼育員の目線などに立っていろいろな角度から那須サファリパークの研究をしました。実際の面接では自分のやりたいことを精一杯伝えました。

▽後輩にメッセージ

やりたいことを最後まで突き詰めてほしいです。迷ったら初心に戻り、なぜその道を選んだのか、もう一度考えてあきらめず頑張ってください。

就職先：石原牧場

青木千春琉さん
(常磐高校出身)

新たな世界に
挑戦したい



▽就職先を選んだ理由

牧場実習で、知らないこと、学ぶことが多く楽しかったというのがきっかけです。牛乳も好きなため、生産に携わりおいしい牛乳を生産したいと思いました。実習では、生活面まで多くのサポートをしていただきました。

▽就職活動で頑張ったこと

とにかく経験を積むことです。実習にたくさん行き、実習先ではそのスタッフにビックリされるくらい質問をしました。積極的にコミュニケーションをとり、自己アピールしました。趣味や自分にできることなどです。アルバイトで接客経験を積み、多くの人と話す機会もつくりました。

▽後輩にメッセージ

入学当初は牧場には興味がありませんでした。牧場実習に行って「よかった」という友人の話を聞き、興味を持ち、内定先も牧場に決めました。自分に興味がない分野でもその内容を知らないだけ、視野を広げるという意味でも全く興味のない分野に挑戦してみるのも良いと思います。



「ぐんま昆虫の森」で説明を受ける学生たち

多彩なフィールドで学習 動物飼育学科

動物飼育学科では、学外に出て多くの学びを得ています。利根川散策、自然史博物館、ぐんま昆虫の森での学びを紹介します。

【利根川散策】

地域の自然を観察し理解を深めることを目的に、6~1月にかけて4回の利根川散策を行いました。当初、遊び感覚の学生たちでしたが、スポンを見つけたことを機に生態系の変化を体感し、季節による植物の変化などにも気付けるようになりました。

【県立自然史博物館】

11月22日に、県立自然史博物館を見学。今回は、バックヤードツアーでも見学できない「はく製の保管室」を見ることができました。常設展示では群馬の自然・自然史・進化について学び、研究員や解説員からお話を聞きました。その中で、博物館の役割について、「過去の資料をもとに、新たな発見や研究データを未来へ繋ぐ」という言葉は、学生に響いたようです。

【県立ぐんま昆虫の森】

1月17日、県立ぐんま昆虫の森で施設見学を実施。館内見学では、『日本人と昆虫の関りの歴史』や取り組みをはじめ、昆虫の飼育方法・食草についての管理方法などを学びました。見学を通じて、来園者・管理者の両面から学ぶ体験ができました。

1年生を対象とした国内研修旅行が12月14・15日に行われました。

初日は東京ディズニーランドへ。級友たちと宿泊を伴う初の研修旅行に、学生たちの期待感が朝の集合時から伝わってきました。ディズニー

1年生3学科で 国内研修旅行

ランドでは専門学校で新たに出会った仲間とおもいきり楽しんでいました。

2日目は東武動物公園と川越の散策。動物について学ぶ学生たちなので、東武動物公園の飼育環境や動物の生態に関心を持ち、語り合う姿が見られました。川越散策では小江戸の雰囲気を堪能しました。

厚生労働大臣指定 柔道整復師養成施設

CSM 中央スポーツ医療専門学校 (旧 前橋東洋医学専門学校)

〒371-0843 前橋市新前橋町21-16 TEL.027-253-1205 FAX.027-253-1230 HP.http://www.ist.ac.jp

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央スポーツ医療専門学校は、前身の前橋東洋医学専門学校を含め社会に多くの卒業生を送り出してきました。病院や接骨院などで活躍する先輩たちを今回も紹介します。

なりしげ整形外科勤務
相澤 菜々さん
(2020年卒業、
太田市立太田高校出身)

患者さんの感謝が励みに

▽柔道整復師を目指したきっかけ
中・高生時代にスポーツをやっていた接骨院に通っていたことがあり、自分も将来たくさんの人に携わってけがや痛みに対処し、精神的にも支えられるような柔道整復師になりたいと思いました。

▽学生時代に頑張ったこと
いちばん頑張ったことは国家試験勉強です。勉強方法を工夫したり、図にしてみたり自分に合った勉強法が見つかったからは楽しく勉強ができました。

活躍する卒業生



た。

▽仕事のやりがい
患者さんが痛みで今まで通りの動きができなくなってしまうのではないかと思います。患者さんが痛みで今まで通りの動きができなくなってしまうのではないかと思います。患者さんが痛みで今まで通りの動きができなくなってしまうのではないかと思います。

デイサービス八幡勤務
加藤 岳人さん
(2019年卒業、
伊勢崎興陽高校出身)

介護施設で利用者サポート

▽柔道整復師を目指したきっかけ
私が柔道整復師を目指した理由は、高校生のときに接骨院の先生にお世話になり助けられたことがきっかけです。

▽学生時代に頑張ったこと
学業に加えて、実習（接骨院でのアルバイト）と臨床経験に全力を注ぎました。実際に患者を診察し、治療に携わる経験は、知識を身につける上で貴重で、今も現場で大いに役立っています。同時に、クラスメートと協力して勉強や実技の練習に打ち込み、先生方からのサポートがあったおかげで、進



路や学業について気軽に相談できる環境に恵まれました。

▽仕事のやりがい
介護施設での柔道整復師の役割は、利用者さまの在宅生活での日常生活の動作をサポートし、個別計画を立て、リハビリを行っています。また、介護士や看護師と協力して、健康的なサポートを提供することに尽力しています。

利用者さまの身体能力が維持・向上することが、私の仕事にとって喜びとやりがいです。

柔道整復師国家試験

19人が合格

第32回柔道整復師国家試験（3月3日実施）の結果が3月26日発表され中央スポーツ医療専門学校から19人が合格しました。学生たちは日々の授業に加え、放課後などを利用して試験対策に取り組みました。この結果を胸に新たな世界で活躍してほしいと思います。

国家試験に先立って「認定実技試験」が昨年11月12日に行われ、全員が合格することができました。

認定実技試験は、柔道整復師の「技術」について評価される試験です。

試験内容は、「診察・整復」で骨折・脱臼・腱や靭帯損傷の合計16種類について、その臨床的対応能力が問われます。

「固定」では包帯やテーピングなどさまざまなものがあり、それらを扱う能力について15種類のけがを対象に評価されます。

「柔道」では礼法や受け身、投げの形が行われました。学生たちは、患者役の2年生と協力し、放課後などの時間を使って練習に取り組んでいました。

トレーニング指導や模擬店グループ合同学園祭に参加

本校の学生たちが、9月30日にGメッセ群馬で開催されたグループ合同学園祭に参加しました。

展示では、InBody（体成分分析装置）を設置しお客さんに身体を測定してもらい、その結果に対して学生たちが考えたトレーニングを指導しました。

模擬店は、チョコバナナとフランクフルトの2店舗を出店しました。事前準備ではバナナの串刺しがうまくいかず、学生同士で試行錯誤を繰り返しました。当日は2店舗とも長蛇の列ができ、見事完売しました。



学園祭に出展した本校の2つの模擬店

在校生の声

2年生
横田 理恵さん
(市立前橋高校出身)



知識や技術が身に付く

【この学校を選んだ理由】
オープンキャンパスに参加した際に生徒と先生方の距離が近く、楽しく明るい雰囲気、親身になって優しく丁寧に説明して下さる部分に惹かれ、自分もこの学校で学びたいと思ったからです。

【学校生活で楽しいこと】
最初のころは何もかも初めてで大変だったけれど、勉強するにつれてだんだん知識が増えたり、技術が身に付いたり自分のできることが増えて、それを授業やテストなどいろいろな場面で生かせることが楽しいです。

社会人入学・3年生
横堀 晃大さん
(県立前橋高校出身)



人の役に立ちたい

【社会人経験を経て入学】
私は書店でアルバイトをしていました。将来を考えていたところ、母が通う接骨院の先生に柔道整復師の資格のことなどを聞き、自分の持つ知識・技術で人の役に立てる点に魅力を感じ専門学校への入学を決意しました。

【この学校を選んだ理由】
私が専門学校入学を決めたきっかけをくれた先生が本校の卒業生で、その先生からとても面倒見の良い学校であると聞いており、カリキュラムなどを見てこの学校なら良い環境で勉強できると感じたため選びました。

患者対応など実際に 1、2年生が臨床実習

柔道整復師の臨床における実践的能力向上を目指す1、2年生の臨床実習が本年度も行われました。

学生たちは、多くの卒業生が勤務している高柳整形外科・歯科クリニックでの実習では、外来の補助やリハビリ室での患者さまの誘導、先輩方の補佐を担当。また、入院患者さまの院内での様子も見学させていただきました。

また、本校の卒業生が開業している高崎ただき接骨院、てしがわら接骨院での実習では、接骨院での仕事の流れや、電気療法の使い方などを教わりました。また、実際に患者さまの受付や誘導を行わせてもらうなど、充実した実習となりました。



臨床実習で補助作業する学生

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

前橋: 〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校連携校

前橋校

http://chs-clark.jp

CHUO

中央カレッジグループ

多くの思い出を胸に 33人が新たな旅立ち

クラーク記念国際高校連携校・中央高等専修学校前橋校（須川清学校長）の第25回卒業式が、3月2日に中央カレッジグループ本部館6階大ホールで行われ、33人の卒業生が学び舎を巣立っていきました。

厳粛な中で行われた式典には卒業生と保護者、在校生、教職員、前橋市の吉川真由美教育長をはじめ多くの来賓の方々が出席。須川学校長から一人一人に卒業証書が手渡されました。

在校生の送辞を受け、卒業生を代表して2人の生徒が答辞を述べました。

山口明日音さんは「検定の勉強などを通じて自分自身の新たな可能性を見つけることができました。この学校で学んだことを生かして、見つけられた夢を追いかけていきたいと思います」と3年間を振り返り今後の抱負を述べました。ティロス・アキシャ・フィヨ-

第25回卒業式



学校生活を振り返り、感謝を込めて答辞を読む卒業生代表

ナ・バルさんは「入学したときは日本語がままなりませんでしたが、友人のみんなとたくさん話げできたことが日本語の上達につながりました」と友人たちへの感謝を述べました。

須川学校長からは「笑顔の積み重ねが毎日の小さな一歩です。険しい道乗り越えてきた自信を成長として捉え、今日の笑顔としてほしいと思います」と卒業生へエールが送られました。卒業生は大学、短大、専門学校、就職などそれぞれの道へと歩み出します。

—2023年度インターアクトクラブ活動—

多彩な取り組みで社会貢献

本校では前橋南ロータリークラブの指導のもと、インターアクトクラブ(IAC)活動に取り組んでいます。その内容を紹介します。

前橋公園グリーンプロジェクト

花植えや清掃に汗流す

本校のインターアクトクラブは、提唱団体である前橋南ロータリークラブ、前橋市公園管理課のご協力のもと、前橋公園グリーンプロジェクト(GP)の一環として前橋公園さちの池周辺の整備・美化活動を行っています。

同公園「さちの池」南東の旧カキツバタ園と南側にある放水路、ピオトープ周辺の管理を担当、定期的な花植えと草むしり、ピオトープ園の池の清掃、ホタル呼び戻しのための外来種駆除などを行いました。

4月に令和5年度の第1回目の

GPを行い、前橋市長の激励の言葉をいただいた後に、ヒマワリの種まき、サンパチェンスの植栽を行いました。その様子は群馬テレビや上毛新聞に取り上げていただきました。

7月にはホタル呼び戻しのために、池・水路の清掃、またホタルの幼虫の餌となるカワニナの放流、天敵であるアメリカザリガニの駆除などを行いました。また、ホタルの一生やホタルの生活環境を守るために何をすべきかなどを学びました。この春以降に多くのホタルが飛んでくれることを期待しています。

10月には来年度に向けての土壌の改良や、コスモスの種まきなどを実施。冬の期間には、春以降のような花を植え育てていくかを検討しま



池の清掃をする生徒たち

した。参加した生徒たちからは「種をまいたり、花を植えたりして終わりではなく、公園を訪れる人がきれいな憩いの場として楽しんでもらえるように、定期的に整備していくようにしたい」「7月の池の清掃は本当に暑くて大変な作業でしたが、この整備活動でたくさんのホタルが戻ってくれるのを楽しみにしています」という活動の感想がありました。

今後も、生徒たちによるGPが続きます。

前橋・桐生合同体育祭

晴天のもと、力合わせ

前橋・桐生合同体育祭が10月18日、前橋市の王山運動場で行われました。天候などの影響から、ここ数年は体育館で行っていましたが、本年度から屋外での開催となり、秋晴れの空のもと両校生徒の声援の音が響きました。



熱戦を繰り広げた合同体育祭

体育祭では、前橋校1・2・3年、桐生校の4チームに分かれ、さまざまな競技に取り組みました。また、多くの保護者の方にも競技に参加していただきました。

徒競走や障害物競走など個人種目も盛り上がりましたが、大縄跳びや棒取り、台風の日など団体競技は、チーム全員で力を合わせたり、声を掛け合ったり、さらに盛り上がりを見せました。

結果は前橋校3年チームが優勝となりましたが、最後の種目まで気の抜けない接戦でした。

参加した2年生からは、「良い天気の中、広いグラウンドで体育祭ができてよかったです。来年度はもっと練習してから競技に参加し、優勝できるようにがんばりたいです」と話してくれました。

来年度も生徒・保護者・教職員が楽しく参加できる体育祭になることを期待しています。

大会参加や福祉活動も

▽年次大会に参加

毎年7月下旬に、国際ロータリー2840地区(群馬県)に所属する、17校のIACが集まり、活動内容を報告し、ボランティア活動について学ぶ「年次大会」が開催されます。2023-24年度は大間々高校をホストとして、みどり市のながめ余興場にて年次大会が開催され、前橋校の会長も年間の活動報告を行いました。

▽門松作り

12月には日本の伝統文化を学ぶ学習活動の一環として門松を作成しています。そして作成した門松をお世話になっている方々へ寄贈したり、特養老人ホーム「春日の里」にて入所されている方の前で門松を作成す



年次大会での活動報告

る慰問活動も行っています。

▽環境と福祉にも関心

年間を通じて、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を行っています。回収によってごみを減らせるだけでなく、プラスチック製の空ケースをリサイクルし、その事業で利益を上げ、視覚障がい者などへの支援事業の拡充へと役立っています。コンタクトレンズ販売のアイシティの事業に参加し、活動しています。



春日の里での門松作り

▽清掃活動

学校周辺の清掃活動を行う地域清掃や、花壇の整備、体育で利用させてもらっているグラウンド、公園の清掃などを行っています。

▽募金活動

1月には能登半島地震が発生し多くの被害が出てしまいました。IACでも募金活動を行い、少しでもありますが、被災地への支援をさせていただきます。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

桐生: 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

クラーク記念国際高等学校連携校

桐生校

http://chs-clark.jp

CHUO

中央カレッジグループ

第16回卒業式

14人が新たな一歩

桐生校ともお別れ

クラーク記念国際高校連携校・中央高等専修学校桐生校の令和5年度第16回卒業式が3月9日、桐生相生町の同校で行われ、14人が新たな道へ一歩を踏み出しました。桐生校は本年度の卒業生で、その歴史の幕をいったん閉じることになります。

式典では、須川清学校長から学習の成果である卒業証書が一人ずつ手渡されました。

学校長式辞で、須川学校長が「険しい道乗り越えた自信を成長と捉え、笑顔で巣立ってほしい」と、卒業生に激励の言葉を送りました。

来賓を代表し、群馬県専修学校各種学校連合会の中島利郎顧問が、「周囲の人たちに色々なことを『してもらえ幸せ』と、その結果自分で何か『出来るようになった幸せ』を忘れることなく、してもらって出来るようになった自分が、周りの人たちに『してやれ

る幸せ』をかみしめながらこれからも大いに飛躍してください」と卒業生へ祝いの言葉を述べていただきました。

卒業生代表として答辞に立った大野綾華さんは、「楽しいことや辛いことを共有し、良いクラスになれた。最高の学校だった」と学校生活を振り返りました。

本校は、新年度から前橋校と統合するため、桐生校としては最後の卒業式になりました。卒業生には桐生校での3年間の頑張りを自信として、これからの人生を生きていってほしいと思います。



桐生校の校舎を前に記念撮影する卒業生と教職員

【桐生校の歴史】

2008年4月1日、前身の桐生ビジネス専門学校高等課程を引き継ぎ、新たに学校法人有坂中央学園中央高等専門学院桐生キャンパスが誕生。2014年4月から中央高等専修学校となった。クラーク記念国際高校とも連携、



感謝を込めて答辞を読む大野さん

多くの人材を育成してきた。これまでの桐生校卒業生は約400人。

感謝祭にぎわう

前橋校 模擬店や腕相撲大会

11月25日に前橋校の第2校舎、駐車場で感謝祭が行われました。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった感謝祭はさまざまなことに感謝する行事です。また、多くの保護者の方にも参加していただきました。

模擬店では、おにぎり、餃子、フランクフルト、ワッフルなど、おいしい料理が振舞われました。

第2校舎では学年対抗クイズ大会、クラス対抗腕相撲大会が行われ、代表者が優勝目指してがんばりました。

最後には、8人の生徒から「親への感謝」「友人への感謝」「趣味への感謝」「食べ物への感謝」など感謝の作文が読まれました。

桐生校 2コース一緒に

桐生校最後の感謝祭が11月25日に行われ、家族や友だち、地域などに日頃の感謝の気持ちを込めて、総合コースとベーシックコース一緒に行いました。

公民館の調理室を利用させていただき、焼きそば、豚汁、フランクフルト、パンケーキ、秋の農業体験で収穫したサツマイモを使ったご飯とスイートポテトを作りました。学校に戻り教室でそれぞれ作った料理を保護者の方々と一緒に美味しくいただきながら、楽しくゲームなども行いました。

最後の「成果発表会」 自分の人生振り返る

中央高等専修学校桐生校として最後の「成果発表会」が2月8日に行われました。

在籍している3年生に加え、保護者の方々にも参加していただき、生徒たちが自分自身の人生を振り返りました。

生徒たちは、それぞれが3年間だけでなく中学校のころまでの自分を振り返り、パワーポイントを使いながら発表。その内容は感動的でした。

ある生徒は、「中学生のころの私は、体が弱く体調を崩すことが多かったですが、本校に入学し自分のペースで通うことで徐々に生活リズムが整い、高校生活にも慣れることができました。クラスも少人数なので学校生活がとても楽しく思えました。私に合った環境で生活を送ることができ成長することができたのは、私のことをいつも支えてくれた家族と優しい先生方がいたからだと思います」と入学を機に自分が変わったことを発表。

また、不登校だった自分を振り返った生徒は、「私は、入学する前まで辛い学校生活を送っていました。中学校では、自分の外見を笑われバカにされ、マスクで顔を隠すようになり不登校になりました。私が本校で成長できたことは、不登校だった私が学校を休まずに登校できるようになったことです。そしていちばん成長したことは、先生方や母、クラスの友達の応援のおかげ



自分を振り返り発表する生徒

で最後までやり遂げ、結果をいっぱい残すことができたこと」と、振り返りました。

発表を聞いた須川学校長からは、「自分の辛い過去を話すことは苦しく思い出したくないことが多い、しかしそれを乗り越え、発表というかたちで話ができたと、みなさんの成長だと感じている」と講評をいただきました。

門松作りの成果を 地域や実習先に寄贈

日本の伝統や文化の学習として門松作りを12月13日から19日にかけて行いました。桐生校としての最後の門松作りになるので、3年間の経験を生かして心を込めて作りました。

作成した門松は学校だけでなく、体育の授業でお世話になっている桐生ガススポーツセンター、農業実習でお世話になっている小久保農園、竹を提供してくださった社会福祉法人赤城の家、桐生市保健福祉会館に寄贈しまし

ウォークラリーを企画 地域の歴史遺産も学ぶ

例年の持久走大会に代えて、ウォークラリーを12月1日に行いました。この日は風もなく青空の中、グループに分かれて桐生市内を歩きました。

生徒たちは、それぞれのチェックポイントで、課題をクリアしながらゴールを目指しました。ゴール手前には、桐生では有名な「相生の松」があり、歴史にも触れることができました。

ラリーでは、歩きながら総合コースとベーシックコースの交流も深まり、ゴールするころには、仲良く話をする姿も見られ、良い活動ができました。

生徒には歩数計を持たせ歩数を計測、最も多い生徒は10,000歩も歩いていました。参加した生徒は、それぞれが疲れた様子でしたが、ゴールした後は達成感で笑顔でした。

た。また、保健福祉会館への寄贈の様子は上毛新聞や桐生タイムスでも取り上げられました。

生徒からは「今回で最後の門松ということで、心を込めて作りました。バランスよく作れて、3年間でいちばん良い門松を作ることができました」の声が出ていました。



スポーツセンターに寄贈された門松



Super Kids English Studio
中央外語学院

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目49-3 TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201

www.chuo-gaigo.com

CHUO
中央カレッジグループ

こどもスピーチフェスティバル2024

英会話学習の成果を発表 園児や児童、185人が楽しく



次代を担う国際人を育てる中央外語学院は3月に、課外英語クラスで「こどもスピーチフェスティバル2024」を開催、群馬県下の幼稚園児や小学生185人が、保護者らに日ごろの英会話学習の成果を披露しました。

本学院では、日ごろの英語学習の「ゴール」を発表会とし、それに向かって1年の目標を立て、英語の指導に取り組んでいます。

本学院が提唱する「子どもたちが楽しんで英会話することが本来の目的である」との思いから、英会話力の競い合い（コンテスト）ではなく、発表する子どもたち自身とそれを聞くみんなが英語を大好きになる場（フェスティバル）の提供を目指しています。

10回目（オンライン回を含む）の開催となる今回は、保護者に、子どもたちが普段から英会話で学んでいることを、インタビュー形式の自己紹介や歌、フラッシュカードを使ったアクティビ

ティなどを英語で表現しました。

保護者の前で緊張しながらも生き生きとした発表を行う園児や小学生に、参加した保護者などから盛んに拍手が送られていました。このような舞台での発表やその達成感は貴重な体験となったようです。

本学院ではこれからも、英語に慣れ親しみ、異文化を理解することのできる人材を育てていきます。

写真は、いずれも子どもたちが主役で、英会話の楽しさをアピールしたフェスティバルの光景です。



資格の学校 TAC 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

2023年度試験合格報告

税理士(科目)や社労士で実績 公務員も多数の最終合格

2023年度の各種試験結果が出そろい、多くの受講生から喜びの報告が届いています。税理士試験では、科目合格者で簿記論、財務諸表論、消費税と合格者が出ました。また、社会保険労務士試験では6.4%の合格率で2人の合格者を輩出しました。

公務員試験では国家公務員、国税専

門官、裁判所、東京特別区、群馬県庁、茨城県庁、前橋市、高崎市役所、太田市役所、伊勢崎市役所、館林市役所、渋川市役所、大泉町、玉村町など。また、警視庁や東京消防庁など公安系でも多くの受講生が県内外で最終合格を勝ち取りました。皆さん、おめでとうございます。

2023年度合格報告 (数字は合格者数)

○税理士【科目合格】

簿記論 3、財務諸表論 1
消費税法 1

○社会保険労務士 2

○公務員試験

国家一般職 3、国税専門官 2
裁判所事務官 2

東京特別区 I 類 1
群馬県庁 (行政) 2
茨城県庁 (行政) 1
国立大学法人等 1
前橋市 1、高崎市 2
太田市 1、伊勢崎市 1
館林市 1、渋川市 1
大泉町 1、玉村町 1
警視庁 1、東京消防庁 1

合格者コメント

計画性持って学習を

S・Oさん (2023年度 群馬県庁合格)
(これから受験する人へ)

公務員試験は、対策に時間がかかり、大変なことも多いと思います。しかしながら、着実に努力を重ねた人は必ず報われる試験です。ただ闇雲に勉強するのではなく、計画性を持って対策を進めてください。自分にとって必要な科目は何か、自分が試験本番までにできるようにならないといけないことは何かということを考えながら、たまには息抜きをしながらメリハリをつけて頑張ってください。

面接対策も重要

T・Fさん (2023年度 裁判所一般職合格)

(これから受験する人へ)

公務員試験は、筆記試験から面接重視へと変わっています。そのため、筆記試験に力を入れるのはもちろんですが、面接対策も重点的に取り組んでいく必要があります。そして面接対策では自治体研究などでその自治体の理解を深めることも大切です。ガクチャや自分自身への理解も大切になってきますので、勉強外の日頃の生活でもエビ

ソードを探しておくことも重要になってきます。

資格・検定紹介

「1級土木施工管理技士」

●業界のプロフェッショナル資格
橋梁・ダム・トンネル等の主として公共性の高い土木工事にあたり、安全管理、施工計画、工程管理、品質管理を行う土木エンジニアとしての資格。一次、二次の双方の検定試験に合格することで取得することができます。

〈1級土木施工管理技士のメリット〉

- ・建設業法上、建設現場に設置すべく専任の監理技術者になることができる。
- ・経営事項審査の技術力評点で一級建築士と同じ5点を取得できる。
- ・ゼネコン等に限らず建設業界への就転職に有利。

お得な講座キャンペーン情報

公務員 春割キャンペーン

対象：2025年合格目標 総合本科生 他

期間：6月30日(日)まで

・通学メディアの受講料が最大2万2千円OFF！